

# 桜樹会会報

● 第39号



● 平成17年5月

日本大学桜樹会



平成16年度総会後懇親会  
(早田部長国際体操殿堂入り・梶山監督教授昇格祝賀会)



日大コーチミーティング



埼玉国体懇親会

# 目 次

桜樹賛	顧問 濱田 靖一	1
年代・年度・元号などについての考察	顧問 門脇 春男	2
いろいろなタイプのオリンピック	顧問 遠藤 幸雄	7
モルディブに行きませんか	5期 小松 武雄	8
50歳を迎えて	19期 畠山 繁博	9
やっぱ、日大っていいなあ～	28期 殿垣 哲也	10
振り返れば…	31期 井本 吉彦	11
近況報告	36期 林 秀樹	12
会費納入のお願いと住所シールの見方		13
平成17年度分の会費について		13
平成16年度事業および行事報告		14
平成16年度競技会成績報告	25期 遠藤 幸一	15
	31期 長澤 郁子	
	44期 日向彩百合	
平成16年度懇親会報告		24
平成16年度役員会報告		26
平成16年度会費納入状況報告		29
平成16年度収支決算報告		31
平成16年度総会報告		32
平成17年度役員一覧		35
平成17年度事業および行事計画		36
平成17年度予算案		37
平成17年度体操競技大会予定		38
平成17年度体操部役員および部員		39
会報の原稿募集について		40

## 桜 樹 賛

顧 問 濱 田 靖 一

桜はバラ科の落葉樹で、花の美しいものが多く、日本の花の代表として外国にも広く知られている。そのさくら即ち桜樹がいつ頃の日本列島に開花をしはじめたのか、はっきりしない。しかし縄文時代前期の地層から出土した弓の両端の部分にサクラの樹皮が使われていると云うから日本民族と桜樹の関係は古く永いものがある事は云うまでもない。

私は朝起きて障子を開けると庭の右隅の桜樹に話しかけたくなる。

「さくらヨ はやばやと衣がえか、すっかり新緑の衣装になって清しいヨ！」と。

すると若々しい緑の枝が心なしか軽くなずいているような気がするのである。日大文理に体育学科が誕生（昭和三十三年四月）した時、私はチェリーという車を買って通勤していた。その時、車屋が記念にといって小指ほどの桜の苗木をくれた。それがこの桜である。幹はひとかかえもあり、高さは十米ぐらい。大木と呼べるぐらいの枝ぶりであり樹

齢は日大文理の体育学科と同年である。

毎年よく美しい花を庭いっぱいにあふれさせ、道を通る人がしばし立ちどまりて觀賞してくれる程である。

昔から桜花をたたえる人は多いが、茎の方はあまり対象にされない。しかし、こんもり、ふんわりと緑の布団をすっぽり被ったような若葉の盛り上がりの桜の茎がかもし出す初夏の雰囲気も悪くない。そして又、初冬の落葉の美しさは格別である。何万と散る落葉の一つ一つが紅と緑や黄の複雑な模様染め分けられている。私は気に入った茎を何枚もひろい集めて机上にならば自然のもつ美の感覚にほれぼれすることが多い。

茎をふるい落として寒空に毅然と立った桜樹であり王樹でもあると思う。四季毎に変化する桜樹の姿勢からいろいろなことを教えられ感謝し、桜樹よ益々健全なれと祈ってやまない。（おわり）



# 年代・年度・元号についての考察

顧問 門脇春男

## 1. はじめに

ものごとには「いつ、どこで、なにが、それから・・・」と話が續いたり、書き留められて伝承されている。

例えば、いつ生まれたか。明治か大正か、昭和なのか、はたまた平成なのか。あるいは、この文献は、いつ・どこのだれが。いつの試合でどうなったかなど、必ず「時」を知らせることが大切である。そこで、今回は標題にあるような、年代・年度・元号などについて調べてみた。

## 2. 年代：西暦と和暦

年代とは、ある基準となる最初の年。紀元からある時点に至るまでの年数。また、紀元の中のある区切りとか経過した年月のことを指している。

これには和暦と西暦とがあり。和暦は日本の暦で、日本では1872(明治5)年2月11日に、神武天皇に即位したとされた年を元年とし、そしてこの日を紀元節(現在は、建国記念の日)と定めこれを皇紀元年と呼んだが、今は使用されていない。

私が秋田の小学校4年生のときの昭和15(1940)年の話だが、日本の国が誕生してから2600年経ったことを祝う、旗行列や提灯行列が冬の寒い2月11日におこなわれ、紅白の饅頭を貰ったあと家に戻る途中、近くの神明神社の池に張っていた氷の上に乗って遊んでハマッタことが思い出される。下半身ずぶ濡れになりながらも饅頭は、握りつぶされたままであったが無事であった。しかし、このとき第12回オリンピック大会が東京で夏季大会、札幌では冬季大会が開催

される予定になっていたが、第二次大戦開戦のにおいが強くなり、やがて間もなく開催を返上し、中止になったことを、その後20年も経ってから知った。

西暦は西洋の暦で、イエス・キリストが誕生したとされる年を紀元と定め、紀元前のことはB. C. (before Christ) で表し、紀元後のことはA. D. (ラテン語 Anno Domini 「主の年にて」) で表している。

昭和15年の皇紀元2600年を奉祝して、NHKと奉祝会とで一般から詞・曲を公募。

国民歌謡 <紀元2600年>

昭和14年12月 増田好生作詞  
森義八郎作曲

1. 金鷄(きんし) 輝く 日本の  
栄えある光り 身にうけて  
いまこそ祝え この明日  
紀元は 2600年  
ああ1億の 胸がなる

2. 歓喜あふるる この土を  
しっかとわれら 踏みしめて  
はるかに仰ぐ 大御言(おおみこと)  
紀元は 2600年  
ああ肇国(ちょうこく)の 雲青し

—以下5番まである—

(替え歌) 金鷄があつて15銭  
栄えある光り30銭  
今こそ来たれこの値上げ  
紀元は2600年  
ああ1億の民は泣く

〈作者不明〉\*タバコのこと

### 3. 旧暦（大陰暦）と新暦（太陽暦）

徳川幕府は、初代将軍家康によって江戸に1603（慶長8）年開府。そして第15代将軍慶喜によって1867（慶応3）年10月14日に大政奉還され、265年間にわたる武家政治は終焉した。その翌年の1868（慶応4）年9月8日に、明治天皇による新政府が明治元年と改元。さらに5年後の1872（明治5）年12月3日を、新暦（太陽暦）の明治6年1月1日と定めて今日に至っている。

因に、元禄15（1702）年12月14日未明、赤穂の浪士（城代家老大石蔵助など四十七士）が、江戸本所松坂町の吉良邸に討ち入りしたのは、新暦では1703年の1月30日である。したがって、東京に雪が降っても不思議ではない。

### 4. 閏年・閏月・閏秒

①江戸時代の暦（旧暦）では、1年を一応12ヵ月としていたが（30日を6回、29日を6回としていた）そうすると $30 \times 6 = 180$ 日と $29 \times 6 = 174$ 日で354日となる。したがって本当の1年間は365日であるから、 $365 - 354 = 11$ となり11日間残るので、余った11日を19年間ためると209日となる。それを7で割ると29.85日となり、1ヵ月分に相当する数になるので、19年間で7回閏月（13ヵ月目）をつくり、2～3年ごとに入れて季節を勘案した1年に調整した。

\* この頃の武士＝公務員は、年俸制度だったので殿様は別に困らなかったのだが、現在のような月給制だったら、支払う方が大変なことである。  
それにしても、いつの年を基準にして、誰がこの計算をしたのだろう。

②西洋暦だと、地球が太陽の回りを1周するのに365日と5時間48分46秒かかるので、その端数を加算して、4年に1度だけ2月に1日分加えて29日にし、閏年とした。

\* 閏年は、5時間48分46秒 $\times 4 = 23$ 時間25分4秒 $\approx 1$ 日

\* 閏年は、オリンピック夏季大会の開催年で、アメリカ大統領選の年でもある

③うるう秒時刻は、地球の自転を基準とした天文時が基本で、それを均等に分割したのが時間である。しかし、地球の自転に揺らぎがあり少しづつ時刻とズレが生じるので、現代では、セシウムなどの原子の電磁波を基準にして1秒の長さを決めている。そして毎年標準時と比較しながら、「うるう秒」として標準電波が発信されている。

### 5. なぜ2月だけが日数が少ないか？

古代ローマ時代、冬が終わって人間が活動し始める3月から1年が始まっていたからである。当時のローマ暦は、月の満ち欠けが基準で、新（満）月から新（満）月までが29.53日だから、最初の3月を大の月とし30日、次の月を小の月として29日としたが、これだと1年間は354日となり、年が経るごとに月と季節がずれていくため、農業などに不便だった。そこで2～3年おきに「閏月」をつくり13ヵ月とした。

－（\*なぜか日本の旧暦と、考え方が同じである。いわゆる生活の知恵かも）－  
紀元前46年（今から2050年程前）に、ローマのユリウス・カエサル（ジュリアス・シーザー）によってつくられた「ユリウス暦 Julius」は、1年を365日と決め、奇数月を31日、偶数月を30日としたが、これだと12ヵ月で366日になっ

てしまうために、1年の最後の月である2月から1日減らして29日とした。

その後、シーザーの養子の皇帝アウグストゥス（ラ：Augustus＝英：August＝8月）が自分の名前にちなんで8月を31日にするために、2月からさらに1日を削ったのである。

とすると、王様の権威付けのために政治的なしわ寄せを受けたのが「年末」の2月である。

これと似た話で、なぜカレンダーの最初が日曜日か？これは、最初は神の下へ行き心の安息を求め、心の豊かさや自由な時間が欲しかったのである。

## 6. 年と年度

暦年は、X年A月と書けば、その年の1月1日～12月31日までのことである。しかし、年度とくれば話が少し違ってくる。年度とは、事務または会計決算などの便宜によって区分された期間で、一般的には、日本では会計年度や学年度は、4月1日から次年の3月31日までである。

例えば、今は平成17年である。それが1月～3月末までは前年度である。すなわち平成16年度である。ある企業が「平成17年3月期売上げ決算報告書」なるものをつくったとしたら、それは「平成16年度3月期売上げ決算報告書」でもある。

その昔、日本体操協会評議委員会（この当時は、評議委員会が最高決議機関であり慣例的に2月に行われていた。念のため、現在は法人なので理事会である）の席上で「今、X年なのに、なぜX年度と書かれた資料で会議をするのか」ときた、それは正論である。実は、会計決算は3月末であるのだから。さらに「本来は、4月以降に会議を開催すべきだ」ときて会議は大混乱となった。そうなると

X年度の決算報告は勿論できないし、新しい年度の予算執行もできなくなる・・・。

国家予算だって3月中に決めている。しかも、税収入額も確定していないのに、予算の会議をやっている。足らなければ補正予算を組み、国債を発行し帳じりを合わせる訳だが。とにかく公共事業などの予算は、全部使い切るのが当たり前だ。しかし、使い方や使用目的が公正かどうかは厳しく監査される。そこで、余った予算は次年度に繰越すか、赤字国債を少しでも解消するか、税金を国民に還付したら！

もう一つ、昭和39年12月に伊豆のある温泉でのことであった。幹事は遠藤幸雄先生であった。「只今から昭和39年度の体育学科の忘年会を始めます」と開会宣言。続いて主任教授（当時まだこう呼ばれていた）松井先生が、挨拶の冒頭に「39年度はまだ終わっていないよ…」ときた。そのとき、そうかと思った。しかし「主語が忘年会、忘年会は年の暮れにやるもの、しかるに39年度内行事なのに」と三段論法的に考えたが、これは、屁理屈かな。

さて、遠藤先生はどう思ったかな？

## 7. 元号

年号とも言うが、基本的には天皇が変われば元号が変わるのが普通である。『日本書紀』によれば、飛鳥時代（6世紀末から7世紀前半）の孝徳天皇が、大化という元号を西暦645年6月19日に命名したのが最初と言われて、以来247もの元号がある。

それは、天変地異・疫病の流行・火災などの厄落としや縁起直しという意味で、60名の天皇が158回も元号を変えている。

ここでは、近代天皇制国家となった明

治以降の元号についてみると

#### 122 代明治天皇

慶応4年(1868. 9. 8)に明治と改元～  
明治45年(1912. 7. 30)

出典:周易より「聖人南面而聴天下 嚮  
明而治」 在位は43年10ヵ月

#### 123 代大正天皇

明治45年(1912. 7. 30)に大正と改元  
～大正15年(1926. 12. 25)

出典:「大享以正 天之道也」 在位  
は14年4ヵ月

#### 124 代昭和天皇

大正15年(1926. 12. 25)に昭和と改元  
～昭和64年(1989. 1. 7)

出典:書経より「百姓昭明 万邦協和」  
在位は62年1ヵ月

\*私は、逝崩の報を、スケート実習のため  
日本大学軽井沢研修所で、朝6時33分  
のニュースで知った。

#### 125 代平成天皇

昭和64年(1989. 1. 7)に平成と改元～

出典:史記より「内平らかに外成る」  
書経より「地平らかに天成る」

#### <参考>

\* 明治の年代に、67プラスすると、西暦の  
年代になる:ただし、明治32年前だと  
1800年代

\* 大正の年代に、11プラスすると、西暦の  
年代になる

\* 昭和の年代に、25プラスすると、西暦の  
年代になる

日本大学の創立は、明治22年(1889)  
で、体育学科は、昭和33年(1958)、体  
操部は、昭和31年(1956)です。

\* 西暦年+660年=和暦年

#### 8. まとめ

以上の考察の結果、

①日本暦は、現在では全く利用されてい  
ない

②元号には、新しい世を祝福し、人びと  
の幸福を祈願する意味が込められて  
いる

③明治以降は、天皇が変わったときのみ  
の改元となる

④西暦の年代は、歴史を語る場合、本と  
か書類のページとおなじような利便  
性があり、いまから何年前の事か、そ  
のとき世界はどうなっていたかの比  
較はしやすい

⑤元号は、本とか書類のページの章や節  
のような、ある区切りやまとまりの完  
結とも理解できる

⑥元号は、日本だけの時間(とき)の経緯(な  
がれ)を表現する方法であり、論文や研  
究発表などでは、なるべくならば西暦  
と併用したほうがいい

⑦日本の時代考証は、古代中国から受け  
ている影響が大きく、それを日本風に  
アレンジしようとしたら、大変複雑に  
なる。また、これを西洋化しようとし  
ると日本古来の良さや文化の歴史的  
な位置付けが極めて難しくなる

⑧時は、円(360°)を刻むことにより  
時間という長さをつくった。したがっ  
て60進法という概念が生まれた。1"  
(秒)が60回で1分、1'(分)が60  
回で1°(時間)、1時間が24回く  
ると1日となった。また経度距離(地球  
を横に輪切りをした東京都内の距離)  
の長さは、1"(秒)は30m、1'(分)  
=1800mである。

⑨ここからは余談になるが

・テニスのスコアのカウンタ(count  
得点)のとり方は、サーバー側から数  
えて、ラブ(0(ゼロ)ではなくlove)、  
フィフティーン(15fifteen=1/4=1  
点目)、サーティ(30thirty=1/2=2  
点目)、フォーティ(40forty=3点目、  
なぜここで3/4の45forty-fiveとな

らないのか?)、ゲーム (game=おわり) としている。円に関係があることだと思うが。因に、セットの数え方は、1. 2・・・7までになっている。どなたか、この謎めいたことを教えてください。

- ・数え年計算：創立した年・設立した日などを計算するとき、創立または設立された年月日を1として数える。
- ・満年齢計算：創立した年・設立した日などを計算するとき、創立または設立された年月日を0として数え、1年経ったときに1と数える。
- ・アイヌ勘定：二百年程前に、徳川幕府は松前藩を蝦夷（北海道）に設置。松前藩は経済活動としてシャケ・マス・ニシンなどの買いつけをした。このときの数の数え方が「はじめ」で1とし、あらためて1. 2. 3・・・9. 10そして「おわり」と言って、さらに1匹。合計12匹とし、また最初から「はじめ」と繰り返し数を水増した。落語の「時蕎麦(ときそば)」と似ているが、「はじめ」から「おわり」までの数は、12進法の考え方である。

## 9. むすび

私達の日常生活は、古の昔から円（縁）の中で生まれ、連綿と続けられて、今があり、未来があるのだ、と思った。これからも輪（話・和）を大切にしたい。

(2005. 4. 10)

<参考文献>

明治天皇―「大帝」伝説、岩井忠熊、三省堂

大正天皇、原武史、朝日新聞社

日本歴史大事典、佐原真他、小学館

日本の唱歌、金田一春彦・安西愛子、講談社

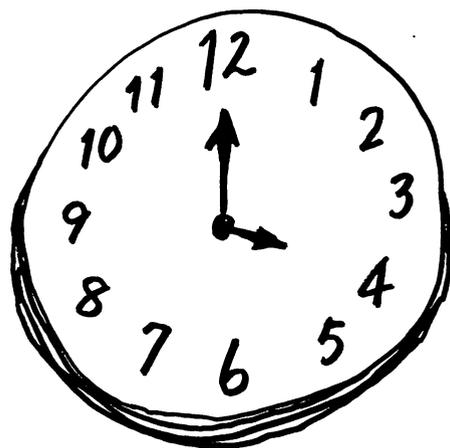
新版元号事典、川口謙治・池田政弘、東京美術選書

古代ローマ散歩、吉村忠典、現代教養文庫

世界史要覧、酒井忠夫、文英堂

広辞苑-第四版-、岩波書店

毎日新聞校閲部「午前3時など」から、毎日新聞社



## いろいろなタイプのオリンピック

顧問 遠藤幸雄

近代オリンピック大会が1896年にアテネで始まったことは有名である。したがって昨年の第28回アテネ大会は、21世紀に入って初めての里帰り大会ともいわれた。

1924年には冬季オリンピック大会が始まり、歴史的にも重さのある二大オリンピックとして定着してきた。その間に登場してきたのが、Paraplegia（下半身不随）とOlympicを合成したParalympic（和製英語）である。しかし、障害が下半身に限らなくなったために不都合が生じ、1988年に「もう一つの」の意を持つParallelのParaを採用し現在に至っているが、スペルの不変が幸いした。

オリンピックとは呼称しないが、去る2001年8月にワールドゲームズ（World Games）を秋田で開催した。第1回を1918年に開催し4年に1度というから秋田は6回目となった。

新聞では「第二のオリンピック」とか「もうひとつのオリンピック」の活字を用いていた。オリンピックで採用されない競技が対象というが、秋田ではすでに正式種目となっている新体操やトランポリンも採用された。

理由は「オリンピックでは競わないタイトルを対象とする」からだった。

2005年2月にスペシャルオリンピックス：SOの存在を知った。知的障害者のスポーツ大会をいい、4年に1度、夏季大会は1969年に、冬季大会は1977年に始まっている。

2月26日～3月5日、長野での冬季大会は第8回となり夏季との通算では第19回目という歴史を刻み、IOC（国際オリンピック委員会）は1988年に「オリンピック」の名称使用を認めている。

なぜオリンピックスとSを加えたか関係者にTelしたところ、英語学的に正しい表記にしたにすぎず、「スペシャルは形容詞なのでオリンピックにはSを加え名詞にした」とのことだった。

さて、これからどんなタイプの世界大会レベルのオリンピックが認められ出現するか分からないが、「オリンピック」の言葉の重さだけは保持ねがいたい。

（平成17年3月記）



## モルディブに行きませんか

5期 小松 武雄

インド洋津波のニュースが飛び込んできた時、私ほど驚いた人間はいないだろう。娘の美香がモルディブのリゾートで働いていたからだ。悲惨な映像が次々に入ってくる中、海拔1~2mの小さな島(10分で一周できる)は水没したと推測された。電話もEメールも通じない。やきもきしているその日の夜中に、本人の携帯電話から連絡があった。よかった。無事だった。いや、本当に奇跡だった。昨年、夫婦で出かけ楽しい思い出と同時に島々の実情を知っていたので心配は人一倍であった。同じモルディブでも、場所によって被害の大きさが異なっていた。美香が勤めているリゾートも何回か変わったが、昨年までいた場所は大きな被害を受けていた。人間の運命というものはわからないものである。

モルディブは、インド洋に散らばる1200の島々からなる群島国家である。その島々は二重鎖状になった珊瑚礁の環にまとまっている。それぞれの島には背の高い椰子の木が茂り、白い砂浜と水晶のように澄んだラグーンに囲まれている。ヨーロッパの人々がこの島々を「真珠の首飾り」と呼んだのがわかる気がする。1200の島々のうち多くは無人島で、人が住んでいるのは約200の島である。一つひとつの島は非常に小さく100㎡~2000㎡程しかなく、珊瑚礁が土台の平坦な地形で、海拔は1~2m程度しかない。

これらの島々は、26に及ぶ自然のアトール(環礁)を形成しているが、その中で外国人が立ち入ることのできるのは100近いリゾートとその周辺に限られている。正式な国名は「モルディブ共和国」。国土の面積は298km<sup>2</sup>で、日本の佐渡ヶ島の約3分の1しかない。人口は約31万人。国旗の三日月が示す通り宗教はイスラム教が国教。首都はマレで政治体制は共和制。言語はアラビア語の影響を強く受

けたディベヒ語である。

さて、堅苦しい話はさておき、きれいなモルディブをご紹介します。成田からスリランカ航空で首都マレまで直行便がでている。ここから水上飛行機(エアータクシー)でそれぞれのリゾートに向かう。青い海にコバルトブルーの珊瑚礁の輪が連なって見えるこの景色は、飛行機からでなければ見られないものである。リゾート近くのスポットに着水すると、ドーニと呼ばれる小形の船が迎えにくる。椰子の木の緑、白い砂浜、海に飛び出した水上コテージがだんだん大きくなってくるといよいよバカンスの始まりである。

桟橋に着いたら靴を脱いで裸足になるといい。椰子の実でウエルカムドリンクを飲みながらスタッフから島についての簡単な説明を受ける。料金は若干高いが、ビーチコテージより水上コテージを選ぶべし。一つの島が一つのリゾートなので、食堂もバーも後払い。チップの小銭だけ用意しておけば滞在中楽しく生活ができる。

島でのアクティビティーはスクーバダイビング、フィッシング、スノーケリング、カヌー、カタマラン、ウインドサーフィンなどがある。リゾートによっては水上スキーやパラセーリング、ジェットスキーなどのできる場所もあるが、あまりお勧めできない。トレーニングジムやスカッシュコート、ビーチハレー、卓球などの施設もあるが、ここでやる種目でもあるまい。なにせ珊瑚礁の上でできた島なのだから、海で遊ぶのがその中心となる。水上コテージの部屋からデッキに出ると、椅子とテーブル、ハンモックなどがありインド洋の美しい景色を眺めながらくつろげるスペース。そこから続くもう一つのサンデッキにはソファが置かれ、日中はのんびりと日光浴、ドラマチックなサンセット、ロマンチックなサンライズ、満天の星空を眺めながら心地よい波の音を聞いているとやがて安らぎ

の世界に誘ってくれる。デッキから階段を降りると珊瑚礁の海に直結しているからいつでも泳ぎたい時にスノーケリングができる。海に入れば珊瑚礁の周りには色とりどりのたくさんの魚が泳ぎまわる。でも、もっと多くの魚を見るには珊瑚礁の外側と外洋の境目がポイントでもある。ここでは海亀やエイやマンタに出会うこともある。場所によって魚のポイントが異なるから、ドーナで出かけるスノーケリングツアーに参加するのが最も効率的でもある。エキスカッションの中には食事持参で無人島に出かけるものもあれば、アイランドホッピングと称して近隣のリゾート島と漁民の島を船で巡るものもある。モルディブの海は世界中のダイバーたちの憧れの場所でもある。珊瑚礁の美しさ、魚影の濃さ、穏やかなコーラルガーデン、豪快なドロップオフ、バラエティに富んだ地形など、いずれも文句なしの条件が揃っている。本番前にはチェックダイビングが行われるが、初めての人は体験ダイビングでも十分。しかし、一度経験するとまたやりたくなるのがダイビング。機材にうるさい日本人は海外まで機材を持っていくが、運搬のリスクを考えるとレンタルで十分と思われる。釣りの好きな人も多いと思うが、島の栈橋や海岸では勿論ハウスリフでの釣りは禁止されている。でも船に乗って沖に出た釣りはOK。サンライズフィッシングやサンセットフィッシングはドーナで出かけインストラクターが釣果の多いポイントまで案内してくれる。

モルディブでは宗教上、飲酒は禁止されているが、リゾート島と空港ホテルは例外で、旅行者は自由にアルコールを楽しむことができる。飲み水は必ずボトルに入ったミネラルウォーターを飲むが、雨水を貯めたものや海水を濾過して脱塩した水を利用するので生活に不便は感じない。気候は高温多湿の熱帯性気候で、最低気温の平均が26度、最高気温の平均が33度程度。5月から10月までは

雨季だが、11月から4月までは乾季である。

観光で成り立っているモルディブ。津波の復興支援もいいが、今は観光客として来てくれることを願っている。時間とお金のある人は是非モルディブへ行きましょう。白い砂浜、緑の椰子の木、珊瑚礁と多くの魚たち。この美しい島を海中に没してはなるまい。地球温暖化がモルディブに及ぼす影響は計り知れない。

最後になりましたが、心配のお電話やお見舞いありがとうございました。

## 50歳を迎えて

19期 畠山 繁博

平成17年4月2日(土) 私は50歳になりました。私と同期の19期生も遅かれ早かれ、間違いなく50歳を迎えることでしょう。大学を卒業して27年、今の会社(秋田アスレティッククラブ)に勤めて27年、一般体操スクールから、選手コースまで指導して27年になりました。本当に長い間、皆様にはご無沙汰しています。

さて、今だから話しますが、私は29歳まで現役選手をしていました。昔なら珍しくもありませんが、最近ではスポーツクラブで小さいころから体操を始めるせいか、選手の寿命が大変短くなったような気がします。そう思うのは自分だけでしょうか。私が今日まで好きな体操と向き合っているのは、長い現役生活をもたらしたご褒美だと考えています。おかげで新しい技の名前も理解できたし、何よりも選手を続ける為に長い間健康管理に留意したことで、現在も年1回の健康診断では、全く異常ありません。(白髪はふえましたが、体重は昔とほとんど変わりません)皆様は、お変わりないでしょうか。

ところで、長い間指導していると色々なことがありました。中でも昨年の東日本ジュニア体操選手権大会(函館)での事は、一生忘れられないでしょう。それは、うちの選手(浅野成也)が鉄棒で10.00を出したことです。

その時の自分の気持ちを素直に話しますと、宝くじに当たったような感じ（当たったことはありません）、もう指導者として教えることが何もない（脱力感）、まさか、信じられない、

（不信感）、本当に夢の中にいるような感じでした。（コーチ冥利に尽きるとは、こんなことでしょうか）

定年まであと10年、あと何年こうして指導できるのか時々不安になることがあります。そんな時は、健康でさえいればまだまだできると信じて日々努力しています。4・5年前からゴルフにはまっていますが、これもまたストレス解消のためです。出勤も午後からがほとんどですので、天候さえ良ければ、ウォーキングやジョギング、シャドースイングなどもしています。これからは、なるべくストレスを溜めないようにマイペースで生活していこうと思っています。

勝手なことを長々と話してきましたが、今後も日大の活躍と、桜樹会の益々の発展を祈念致しまして、私からの投稿とさせていただきます。

やっば、日大っていいなあ～

### —第3回 日大コーチミーティングの報告—

28期 殿垣 哲也

#### 1. 日大コーチミーティングとは？

3月28日～30日まで、岡山県津山市、加茂町スポーツセンター体操場で総勢70名を超える選手・コーチが集いました。

今回で3回目を迎えたこの日大コーチミーティング。（略してNUCMと勝手に呼びます）第1回から体操の聖地、加茂町で行われています。NUCMが始まったきっかけは桜樹会の有志が合同合宿をやろうというところから始まりました。勝手に許可もなく「日大」という名称を使わせていただいて申し訳ありません。

#### 2. これこそが合同練習！

今回のNUCMの特徴は三点あります。

① 参加者が大幅に増えたことに加え、北は山形県から南は鹿児島県まで日本全国か

らの参加があったこと。

夜行列車で来られた学校もあれば、高校選抜大会からそのまま車で参加された学校など、本当に大変な状況で参加されました。

② 日大より梶山先生、学芸大からは水島先生が支援コーチとして激励に来られたこと。

梶山先生が小学生に転回を教えたり、高校生に平行棒のツイストを教えている姿は、めったに見られない感動がありました。

③ 異なったコーチが異なった選手を教えることの大切さ

練習は6～7名の班編成で、それぞれの学校をバラバラにしてミックスしました。それに伴いコーチは必然的に違う所属の選手を指導することになりました。

もともと、所謂ゴルフで言う「教え魔」が集まった合宿だけに、それぞれのコーチは精力的に熱い指導を繰り広げました。選手たちも日ごろの練習とは違う指導方法に目を輝かせて食いついていました。

この三つ目の特徴について梶山先生は「強くなる者とそうでない者は、異なった指導者や指導法に対して、素直に耳を傾けられるかどうかで線が引ける」とおっしゃいました。

まさに今回のNUCMがそういう選手を育てる場になっていることは間違いありませんし、参加した指導者全員がそのことを再認識できた合宿でした。また指導者自身も他の指導者との交流を通じて、凝り固まった指導法や、自己満足な指導を見つめ直す良いきっかけになったと思います。

合宿の始まりと終わりに選手たちに伝えたメッセージは、「この参加者の中から日本代表選手が出ることを目標にがんばろう」です。選手たちにもその自覚が芽生え、実現に向けて一歩踏み出した合宿であったと思います。

#### 3. 夜のミーティング

夜のミーティングでは体操談義に花が咲きました。鞍馬のサークルはどうだとか、平

行棒のツイストはこうだとか技術や指導方法について熱い議論をしたり、選手の生活指導の話しやら、大学時代の思い出話など、明け方まで飲み続け、これほどまでにみんなは体操が好きなのかと感心しました。本当にみんな体操バカです。

最終日には加茂からさらに山奥に入った溪谷にある倉見温泉にみんなで行き、露天風呂で湯に体を沈めながら、体操にどっぷりと漬かった三日間をかみしめながら、それぞれの家路に着きました。

「やっぱ、日大っていいなあ〜」。体操が好きで、みんなで強くなろう、みんなで支えあって応援しよう、そんな姿勢が古い人も若い人もみんな同じ根っこなんだなと思いました。

#### 4. おわりに

宮内喜矩雄先生はじめ、地元加茂町関係者の方々のご協力があったからこそ、このようなすばらしい合宿ができたということを改めて感謝しております。

ところで、第4回NUCMは時期を早めて平成17年12月25日から28日までの日程で行なう予定です。これまで案内が届かなかった方々にも、是非とも多く参加していただいて、自分たちの成長と共に日大の活躍を応援できればと思っています。

#### 支援コーチ

梶山広司 (17期) / 水島宏一 (29期) / 平井良幸 (30期) / 中塚伸次 (34期) / 町田知己 (38期) / 松谷育英 (45期)

#### 参加団体と指導者

れいめい高校 (鹿児島) 松本俊一 (19期)  
D○体操クラブ (滋賀) 早瀬幸博 (23期)  
智頭農林高校 (鳥取) 小野田博之 (25期)  
向陽高校 (京都) 千代恭司 (26期)  
姫路商業高校 (兵庫) 殿垣哲也 (28期)  
庄内総合高校 (山形) 井本吉彦 (31期)  
崇徳高校 (広島) 渡邊稔宜 (41期)

参加希望の方は下記までご連絡ください。

NUCM 世話人

県立姫路商業高校 殿垣 哲也

090-2197-9555

gymgymclub@yahoo.co.jp

#### 振り返れば . . .

31期 井本 吉彦

平成4年に開催された『べにばな国体』から早13年。本当に月日の経つのは早いものです。現在は山形県立庄内総合高校に勤務して13年目になります。

昨年から2回目の担任をしていますが、平成生まれの生徒が入学してきました。ショックです。あたりまえですが2年後は平成生まれの大学生が誕生します。

さて、私は大阪出身ですが大学を卒業してすぐに国体選手として山形県に採用されました(遠藤先生が国体のアドバイザーであったためだった?…はず)。15年前です。大阪で18年過ごしていますので、あと3年もすれば生まれ故郷より長く山形に住むことになります。縁もゆかりもない土地でしたので桜樹会の諸先輩方には大変お世話になったことを思い出します。山形弁が本当に聞き取れなくて、もともと無口な?私でしたがますます口数が減りました。選手として来たわけですが、まだ環境が整ってなくて高いモチベーションを維持しながら独りで練習に取り組むことが難しく苦勞しました。教諭という立場より選手としての立場を県が大切にしてくれたので、時間があればしょっちゅう大学に出かけて練習をしていました。またべにばな国体当年は長期研修ということで、4月から10月まで大学の近くにアパート分かりて、学生と一緒に練習させてもらいました。この年は『バルセロナオリンピック』の年でもあったのでスポーツ界全体が盛り上がった年でした。私も山形のマークをつけて2次予選までは参加しましたが…。

べにばな国体は大成功!に終わりました。

オリンピックメダリストになった、松永選手、カワイ楽器の三木選手、地元で順大卒業したばかりの徳永選手と私の4人で、カワイ楽器の静岡県と同点2位！すばらしい結果でした。1位…？は、というと、大阪のドリームチーム（西川、池谷、荒牧、田中）…これにや勝てませんでした。

国体が終わって平成5年には、またまた県のはからいで指導の出来る高校ということで、現在の高校に転勤しました。環境が変わり、山形弁（んだずう）から庄内弁（んだのお）と方言も変わり指導者として新たな年の始まりでした。

当時はビーバップハイスクールのような学校でしたが、選手や体操関係者、学校の先生方に恵まれ、県大会、東北大会、全国大会でも入賞する選手を輩出できるチームになってきました。また卒業生が世界選手権に出場するという快挙をなしとげてくれました（今では総合学科になり志願倍率も上がり、女子生徒の多いとてもよい学校に生まれ変わりました）。

郡部校ということで少子化による学級減、公立高校の統廃合の波にのまれそうですが、微力ながら体操界に貢献できればと思います。

話は変わりますが、今回の会報にもあると思いますが、3月末の「日大コーチミーティング」合宿に参加させてもらいました。松本先生、早瀬先生、小野田先生、殿垣先生、千代先生、水島先生、中塚先生、渡邊先生、地元の平井さん町田君、それからわざわざ大学からお越しくくださった梶山先生、大変お世話になりました。ありがとうございました。

## 近況報告

36期 林 秀 樹

大学を卒業してからはや10年の月日がたってしまいました。皆様いかがお過ごしでしょうか。私は大学を卒業してから6年間、河合楽器体操部に所属し、兄共々お世話になりました。現役を引退してから地元の埼玉県に

もどり、教員を目指しながら体操を続けてきました。

現在は県立川越高校（あの映画ウォーターボーイズで有名な学校）に臨時教員として勤務しています。もちろん体操部の顧問です。昨年は埼玉国体が開催され多くの先輩方にお越しいただきありがとうございました。実は私もひそかに現役復帰をして国体選手を目指していましたが、やはりブランクと時代の流れにはついていけませんでした。それでも悔しさが残りせつかくここまでやってきたのだから全日本社会人選手権大会（2部）まで頑張ろうと思い、つらい身体にむちを打って体操を続けることにしました。

本来ならば社会人大会は日大桜樹クラブで出場するべきなのですが、土浦日大高校の恩師である荻込先生を監督に、もう一度試合にみんなで出場したいと土浦日大の先輩である竹田さんがOBに声をかけて結成したのが土浦日大桜花倶楽部です。前年度、日大桜樹クラブが2位で土浦日大桜花倶楽部が3位でした。最後のチャンスをかけて土浦日大高校の歴代のエースが集まり試合に臨みました。競技がはじまり、4種目目まではミスも無く好調でしたが後半の2種目で大きなミスを連発してしまい勝利の行方はわからなくなりました。しかし結果はみごとに優勝することができました。驚いたことは2位との差が0.05の僅差だったことです。私自身体操競技を続けてきてはじめての団体優勝だったので大変に嬉しく感動しました。また、応援して下さった日大桜樹クラブの方々、そして日大体操部出身の審判の方々、何よりも今まで大変お世話になった荻込先生に感謝の気持ちでいっぱいでした。

今後は一刻も早く教員採用試験に合格し、立派な指導者になり体操競技の発展に努めていきたいです。最後になりますが日本大学桜樹会の益々の発展と日大体操部のご活躍を御祈りしております。

お忙しいところ誠にありがとうございました。今後とも、日本大学桜樹会を素晴らしい会に発展させるためにご協力くださるようよろしくお願い申し上げます（会報への原稿募集につきましては巻末をご参照下さい）。

## 会費納入のお願いと住所シールの見方

### ～会費未納の方へ～

日本大学桜樹会の収入のほとんどが会費によるものです。ご多忙とは存じますが、お手すきの時にご入金いただきますようご依頼申し上げます。なお、お振込の際には、必ず振込用紙の各欄に詳細をはっきりとご記入下さるようお願い申し上げます。

<住所シールの見方>

(34-06) 君嶋孝之様

→個人コード番号(体操部34回卒)

2004年度分まで納入済:04/12/13付入金

→2004年度分までが、2004年12月13日付で入金されています。

### 平成17年度分の会費について

正会員の年会費については、卒業後20年以上の場合は6,000円、同10年以上20年未満の場合は4,000円、同10年未満の場合は2,000円となっています。よって平成16年度分の会費は次のようになります。

1～26回卒；6,000円

27～36回卒；4,000円

37～46回卒；2,000円

【郵便振替口座番号】00140-5-111495 日本大学桜樹会



## 平成 16 年度 事業および行事報告

月	日	事業および行事内容	場 所
4	3～4	オリンピック 2次予選	代々木第一体育館
5	2～3	オリンピック代表決定兼NHK杯	代々木第一体育館
	20	会報 38号発行・発送	
	22～23	東日本インカレ (応援)	熊谷
7	31～8/2	インターハイ (懇親会)	広島県立総合体育館
8	14～23	オリンピック	ギリシャ;アテネ
9	2～4	全日本インカレ (応援・懇親会)	町田市総合体育館
	18～20	社会人 (選手派遣・応援・懇親会)	仙台市体育館
10	16～17	関東学生新人・交流 (応援)	神奈川県立体育センター
	24～27	国体 (懇親会)	埼玉彩の国熊谷ドーム
11	12～14	全日本 (応援・懇親会)	代々木第一体育館
	27～28	忘年会 (有志)	熱海;ホテル貫一
1	22	新年会 (有志)	新宿;栄寿司二号店
2	26	第1回役員会	ルノアール
3	21	第2回役員会 (会計監査作業)	ルノアール
	26	平成 16 年度総会・懇親会	ホテルサンルート東京



# 平成16年度 競技会成績

25回卒 遠藤幸一  
31回卒 長澤郁子  
44回卒 日向彩百合

- ◆ 第28回オリンピック・アテネ大会体操競技第2次選考競技会
- ◆ 東日本学生選手権大会
- ◆ 第28回オリンピック・アテネ大会体操競技日本代表決定競技会
- ◆ NHK杯
- ◆ 全日本学生選手権大会
- ◆ 全日本社会人選手権大会
- ◆ 関東学生交流大会
- ◆ 関東学生新人大会
- ◆ DTBポーカー
- ◆ 国民体育大会
- ◆ 全日本選手権大会

2004 第28回オリンピック競技大会体操競技第2次選考競技会  
男子

代々木第一体育館(東京)  
2004/4/3-4

	順	選手名	所 属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	1日/2日	総計
	1	米田 功	徳州会体操ク ラブ	9.650 9.625	9.300 9.400	9.150 9.250	9.625 9.625	9.325 9.400	9.500 9.700	56.550 57.000	113.550
	2	富田 洋之	セントラルス ポーツ	9.300 9.350	9.575 9.500	9.600 9.700	9.175 9.225	9.600 9.125	9.700 8.800	56.950 55.700	112.650
	3	鹿島 文博	セントラルス ポーツ	9.250 9.425	9.775 9.800	9.000 8.800	9.400 9.300	9.650 8.950	9.300 9.650	56.375 55.925	112.300
	4	水鳥 寿思	徳州会体操ク ラブ	9.250 9.450	9.475 9.475	9.175 9.050	9.375 9.350	9.300 9.500	9.550 9.300	56.125 56.125	112.250
	5	塚原 直也	朝日生命	9.200 8.500	9.600 9.550	9.350 9.275	9.500 9.400	9.575 9.650	9.125 8.900	56.350 55.275	111.625
	6	小川 泰弘	徳州会体操ク ラブ	9.100 9.375	9.100 9.300	9.150 9.125	9.300 9.450	9.475 9.575	9.400 9.050	55.525 55.875	111.400
45期	9	芳村 裕生	コナミスポー ツクラブ	9.300 9.225	8.900 9.125	9.400 9.200	9.450 9.425	9.000 9.550	9.000 9.050	55.050 55.575	110.625
38期	18	林 弘策	コナミスポー ツクラブ	9.175 8.600	8.900 9.200	9.050 9.300	9.250 9.000	9.200 8.850	9.100 9.200	54.675 54.150	108.825
43期	21	鏡 尚志	朝日生命・AG クラブ	8.600 9.250	8.950 9.275	8.925 8.900	9.350 9.400	8.100 9.300	9.400 9.250	53.325 55.375	108.700

女子

2004/4/3-4

	順	選手名	所 属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	1日/2日	総計
	1	石坂真奈美	朝日生命体 操クラブ	9.225 9.325	9.000 9.150	8.825 8.975	9.300 9.300	36.350 36.750	73.100
	2	大島 杏子	朝日生命体 操クラブ	8.950 8.850	8.875 8.925	9.075 9.075	9.000 9.225	35.900 36.075	71.975
	3	溝口絵里加	日本体育大 学	8.975 9.050	8.950 9.100	8.150 8.325	8.800 8.750	34.875 35.225	70.100

## 2004 東日本学生選手権大会

彩の国くまがやドーム

2004/5/22-23

男子

順	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	日本体育大学	45.625	45.550	46.275	45.925	46.500	46.250	276.125
2	日本大学	44.500	43.700	44.750	45.250	44.850	46.350	269.400
3	順天堂大学	45.050	42.950	44.500	45.450	45.650	44.050	267.650

## 個人成績

学年	順	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
4年	1	中瀬 卓也	日本体育大学	9.650 : 1	9.075	9.350 : 6	9.250 : 4	9.100	9.300 : 6	55.725
3年	2	村田 憲亮	順天堂大学	9.200 : 7	9.250 : 5	8.750	9.550 : 1	9.650 : 1	8.900	55.300
1年	3	水島 豪敏	日本体育大学	9.425 : 3	9.250 : 5	8.500	9.200 : 6	9.300 : 8	9.450 : 2	55.125
2年	11	西峯 賢二	日本大学	9.500 : 2	9.100	8.250	9.100	8.400	9.550 : 1	53.900
4年	12	塚本 泰裕	日本大学	8.800	8.850	9.100	9.100	8.800	9.200	53.850
1年	14	田中 和仁	日本大学	8.950	8.800	8.650	8.600	9.350 : 5	9.100	53.450
3年	16	飯嶋 顕	日本大学	8.400	8.800	9.150	8.900	8.750	9.400 : 4	53.400
4年	22	森 光大	日本大学	8.550	8.150	8.600	9.200 : 6	9.200	9.100	52.800
3年	23	江原 嘉一	日本大学	8.700	7.900	9.250	8.950	8.750	8.900	52.450
3年	29	山口 悠樹	日本大学	8.900	8.500	8.350	8.750	8.900	8.300	51.700
3年	33	滑水 明幸	日本大学	8.500	8.350	8.850	9.000	8.450	8.200	51.350
4年	46	笹村 昌宏	日本大学	8.450	8.200	7.750	8.550	7.600	8.500	49.050

## 2004 東日本学生選手権大会

彩の国くまがやドーム

2004/5/22-23

女子

順	チーム名	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	青森大学	46.175	45.825	44.975	44.950	181.925
2	日本体育大学	43.175	45.675	43.375	45.200	177.425
3	筑波大学	44.875	44.750	44.075	43.275	176.975
4	日本大学	42.450	43.900	40.075	42.150	168.575

## 個人成績

学年	順	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1年	1	佐原 礼香	青森大学	9.425 : 5	9.700 : 2	9.625 : 1	9.700 : 1	38.450
4年	2	山本さとみ	仙台大学	9.525 : 4	9.575 : 3	9.475 : 2	9.150 : 5	37.725
3年	3	田中 綾子	青森大学	9.200 : 6	9.550 : 4	9.350 : 3	9.250 : 4	37.350
4年	21	錦井 智子	日本大学	8.300	9.250	8.525	8.900	34.975
3年	27	村田麻衣子	日本大学	8.525	8.950	8.750	8.350	34.575
2年	47	北島由希子	日本大学	8.450	9.100	7.350	7.700	32.625
2年	55	後藤 沙織	日本大学	8.275	8.000	7.625	8.400	32.300
1年	56	佐橋 春枝	日本大学	7.725	8.400	7.800	8.250	32.175
4年	64	小野 鮎子	日本大学	8.900	8.200	6.150	8.250	31.500
1年	73	広田 望	日本大学	8.075	7.550	7.250	7.600	30.475
2年	83	新井 麻衣	日本大学	8.225	7.900	6.300	7.100	29.525
1年	86	茂木瀬里香	日本大学	8.000	6.900	7.150	7.200	29.250

2004 第43回NHK杯兼第28回オリンピック・アテネ大会体操競技日本代表決定競技会 代々木第一体育館(東京)  
男子 2004/5/2-3

順	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	1日/2日	総計
1 代表	米田 功	徳州会体操クラブ	9.650	9.325	9.225	9.425	9.600	9.725	56.950	(56.775)
			9.725	9.450	9.225	9.600	9.525	9.650	57.175	170.900
2 代表	富田 洋之	セントラルスポーツ	9.300	9.575	9.700	9.000	9.700	9.575	56.850	(56.325)
			9.400	9.625	9.725	9.200	9.700	9.400	57.050	170.225
3 代表	水島 寿思	徳州会体操クラブ	9.225	9.250	9.200	9.500	9.550	9.500	56.225	(56.125)
			9.325	9.400	9.100	9.500	9.500	9.600	56.425	168.775
4 代表	塚原 直也	朝日生命	9.500	9.550	9.475	9.325	9.500	9.375	56.725	(55.812)
			9.000	9.550	9.450	9.350	9.475	9.050	55.875	168.412
5 代表	鹿島 文博	セントラルスポーツ	9.225	9.750	8.750	9.275	9.000	9.600	55.600	(56.150)
			9.275	9.775	8.750	9.350	9.650	9.725	56.525	168.275
6 代表	佐野 友治	徳州会体操クラブ	9.475	8.700	9.575	9.425	9.300	9.175	55.650	(55.300)
			9.250	9.275	9.500	9.400	9.525	9.275	56.225	167.175
7 代表	中野 大輔	九州共立大学	9.625	8.850	8.450	9.375	9.400	9.650	55.350	(54.850)
			9.625	9.100	9.050	9.350	9.700	9.650	56.475	166.675
45期	13	芳村 裕生	9.075	9.175	9.300	9.100	9.150	8.300	54.100	(55.312)
38期	18	林 弘策	9.375	9.125	9.350	9.250	8.850	9.200	55.150	164.562
			8.450	8.450	9.200	8.150	9.375	7.200	50.825	(54.412)
			8.550	9.050	9.275	9.250	9.400	9.200	54.725	159.962

2004 第43回NHK杯兼第28回オリンピック・アテネ大会体操競技日本代表決定競技会 代々木第一体育館(東京)  
女子 2004/5/2-3

順	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	1日/2日	総計
1 代表	石坂真奈美	朝日生命体操クラブ	9.300	9.150	8.775	9.350	36.575	(36.550)
			9.300	9.150	8.275	9.350	36.075	109.200
1 代表	大島 杏子	朝日生命体操クラブ	9.175	8.825	8.850	9.475	36.325	(35.987)
			9.250	8.925	8.800	9.050	36.025	108.337
3	上村 美揮	立教女学院短期大学	8.800	9.200	8.500	8.925	35.425	(34.912)
			8.800	9.125	8.675	9.100	35.700	106.037

2004 第43回NHK杯 代々木第一体育館(東京)  
男子 2004/5/2-3

順	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	1日/2日	総計
1	米田 功	徳州会体操クラブ	9.650	9.325	9.225	9.425	9.600	9.725	56.950	114.125
			9.725	9.450	9.225	9.600	9.525	9.650	57.175	
2	富田 洋之	セントラルスポーツ	9.300	9.575	9.700	9.000	9.700	9.575	56.850	113.900
			9.400	9.625	9.725	9.200	9.700	9.400	57.050	
3	水島 寿思	徳州会体操クラブ	9.225	9.250	9.200	9.500	9.550	9.500	56.225	112.650
			9.325	9.400	9.100	9.500	9.500	9.600	56.425	
4	塚原 直也	朝日生命	9.500	9.550	9.475	9.325	9.500	9.375	56.725	112.600
			9.000	9.550	9.450	9.350	9.475	9.050	55.875	
5	鹿島 文博	セントラルスポーツ	9.225	9.750	8.750	9.275	9.000	9.600	55.600	112.125
			9.275	9.775	8.750	9.350	9.650	9.725	56.525	
6	佐野 友治	徳州会体操クラブ	9.475	8.700	9.575	9.425	9.300	9.175	55.650	111.875
			9.250	9.275	9.500	9.400	9.525	9.275	56.225	
45期	13	芳村 裕生	9.075	9.175	9.300	9.100	9.150	8.300	54.100	109.250
38期	18	林 弘策	9.375	9.125	9.350	9.250	8.850	9.200	55.150	
			8.450	8.450	9.200	8.150	9.375	7.200	50.825	
			8.550	9.050	9.275	9.250	9.400	9.200	54.725	105.550

2002 第41回NHK杯 代々木第一体育館(東京)  
女子 個人成績 2004/5/2-3

順	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	1日/2日	総計
1	石坂真奈美	朝日生命体操クラブ	9.300	9.150	8.775	9.350	36.575	72.650
			9.300	9.150	8.275	9.350	36.075	
2	大島 杏子	朝日生命体操クラブ	9.175	8.825	8.850	9.475	36.325	72.350
			9.250	8.925	8.800	9.050	36.025	
3	佐原 礼香	青森大学	8.950	8.925	9.050	9.000	35.925	71.225
			8.975	8.550	8.825	8.950	35.300	

2004 全日本学生選手権大会 町田市総合体育館 2004/9/2-4

男子	順	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
	1	日本体育大学	46.375	46.475	45.950	46.975	46.100	46.875	278.750
	2	順天堂大学	44.625	44.225	43.550	45.600	46.050	46.700	270.750
	3	日本大学	44.825	43.150	42.750	45.825	44.950	45.875	267.375

男子 個人成績

学年	順	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
4年	1	中瀬 卓也	日本体育大学	9.575	8.700	9.300	9.400	9.500	9.625	56.100
4年	2	仲里 隆太	日本体育大学	9.475	9.200	9.450	9.400	9.450	9.050	56.025
3年	3	速見 佑斗	日本体育大学	9.525	9.400	9.450	9.475	9.100	8.950	55.900
3年	18	江原 嘉一	日本大学	8.700	8.950	8.850	9.200	9.150	9.150	54.000
3年	21	飯嶋 颯	日本大学	8.900	8.700	9.000	8.800	9.000	9.200	53.600
2年	22	西峯 賢二	日本大学	9.225	8.700	7.950	9.525	8.600	9.525	53.525
4年	24	森 光大	日本大学	8.800	8.850	8.450	9.050	8.950	9.300	53.400
2年	29	守屋 貴夫	日本大学	9.100	9.400	8.350	9.050	8.050	8.950	52.900
3年	31	山口 悠樹	日本大学	9.000	8.200	8.600	8.950	9.350	8.650	52.750
2年	37	内田 友幸	日本大学	8.900	8.700	8.750	9.200	8.400	8.500	52.450
4年	45	塚本 泰裕	日本大学	8.600	8.200	7.750	9.100	9.050	9.200	51.900
4年	47	徳永 哲人	日本大学	8.750	8.700	8.150	8.350	8.700	9.150	51.800
1年	59	松本 憲秀	日本大学	8.450	8.900	7.800	9.100	8.250	8.450	50.950
4年	66	笹村 昌宏	日本大学	8.700	8.650	8.250	8.600	7.800	8.700	50.700

男子 個人総合

学年	順	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
4年	1	仲里 隆太	日本体育大学	9.200	9.100	9.400	9.375	9.400	9.625	56.100
3年	2	上田 和也	仙台大学	9.500	9.600	9.000	9.225	9.350	9.300	55.975
4年	3	中瀬 卓也	日本体育大学	9.450	9.375	9.450	9.450	9.350	8.800	55.875
3年	14	山口 悠樹	日本大学	9.000	8.650	8.600	9.200	9.475	9.100	54.025
3年	20	飯嶋 颯	日本大学	7.850	9.450	8.950	8.950	8.850	9.350	53.400
2年	22	西峯 賢二	日本大学	9.050	8.650	8.250	9.200	8.550	9.400	53.100
3年	26	江原 嘉一	日本大学	7.750	8.900	9.050	9.125	9.100	8.600	52.525
4年	32	森 光大	日本大学	8.700	7.850	8.200	8.850	9.050	9.200	51.850
2年	34	守屋 貴夫	日本大学	9.325	7.300	8.300	9.150	8.350	8.450	50.875

※跳馬種目別は2本跳越の平均

2004 全日本学生選手権大会 町田市総合体育館 2004/9/2-4

女子	順	チーム名	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
	1	青森大学	44.400	42.750	40.000	41.925	169.075
	2	東京女子体育大学	42.625	41.925	39.800	41.375	165.725
	3	日本体育大学	42.525	41.800	38.900	41.350	164.575
	10	日本大学	40.625	38.100	34.950	40.200	153.875

女子 個人成績

学年	順	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1年	1	佐原 礼香	青森大学	8.875	8.900	8.600	8.400	34.775
2年	2	山脇 佳奈	筑波大学	8.700	8.750	8.150	8.500	34.100
2年	3	米田加寿子	東京女子体育大学	8.750	8.700	8.200	8.275	33.925
4年	29	錦井 智子	日本大学	8.000	7.850	7.750	8.475	32.075
4年	37	小野 鮎子	日本大学	8.450	8.200	6.600	8.225	31.475
3年	48	村田麻衣子	日本大学	8.025	7.950	7.150	7.750	30.875
2年	65	後藤 沙織	日本大学	7.850	7.500	6.650	7.450	29.400
1年	68	佐橋 春枝	日本大学	7.375	7.100	6.850	7.850	29.175
1年	70	立石 絵里	日本大学	8.250	6.350	6.600	7.900	29.100
1年	76	広田 望	日本大学	7.900	7.000	5.600	7.200	27.700
2年	77	北島由希子	日本大学	8.000	6.200	6.300	7.150	27.650

女子 個人総合

学年	順	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1年	1	佐原 礼香	青森大学	8.800	8.950	8.400	8.100	34.250
2年	2	山脇 佳奈	筑波大学	8.900	8.900	8.150	8.100	34.050
4年	3	正見こずえ	鹿屋体育大学	8.750	8.650	8.075	8.525	34.000
4年	13	錦井 智子	日本大学	8.025	8.450	8.250	8.125	32.850

2004 全日本社会人選手権大会 1部 仙台市体育館 2004/9/18-20

男子	順	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
	1	徳州会体操クラブ	45.450	47.750	45.700	47.000	47.325	47.700	280.925
	2	コナミススポーツクラブ	46.475	46.775	45.200	46.925	45.800	46.625	277.800
	3	日体スワロー	43.600	44.425	44.900	45.725	45.750	45.400	269.800
	4	日大櫻樹クラブ	39.800	43.750	44.450	45.200	43.200	43.850	260.250

個人総合

順	選手名	所 属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	米田 功	徳州会体操クラブ	9.650	9.550	9.050	9.600	9.400	9.600	56.850
2	塚原 直也	朝日生命	9.475	9.600	9.500	9.300	9.300	9.500	56.675
3	水島 寿思	徳州会体操クラブ	8.900	9.600	9.350	9.350	9.450	9.700	56.350
4	関口 栄一	コナミススポーツクラブ	9.675	9.300	9.400	9.525	8.700	9.525	56.125
45期	6	芳村 裕生	9.300	9.300	9.300	9.350	9.100	9.400	55.750
43期	18	鏡 尚志	8.900	9.200	8.550	9.200	8.950	9.450	54.250
36期	19	岩井 則賢	9.150	8.600	9.250	9.075	9.000	9.150	54.225
38期	20	林 弘策	8.950	9.300	9.150	9.200	8.800	8.800	54.200
44期	26	佐藤 佑介	7.950	9.000	9.000	9.000	8.550	8.950	52.950
45期	27	松谷 育英	8.100	7.450	8.950	9.300	9.450	9.050	52.300
44期	30	古市 正樹	8.850	8.800	8.550	8.900	8.500	8.350	51.950
45期	31	田崎 裕祐	7.750	9.000	9.000	8.700	8.100	9.050	51.600
44期	32	能勢 龍二	8.150	8.200	8.500	9.100	8.700	8.800	51.450
45期	33	若松 伸	8.150	8.700	8.650	9.000	8.400	8.450	51.350
44期	44	野村 俊介	7.850	8.450	8.950	9.100	7.000	8.000	49.350
45期	46	西村 祥	7.300	8.600	8.550	8.450	8.400	7.300	48.600
42期	48	高橋 勇騎	7.950	8.900	7.450	7.700	7.950	7.400	47.350

2004 全日本社会人選手権大会 2部 仙台市体育館 2004/9/18-20

男子	順	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
	1	土浦日大桜花倶楽部	27.600	28.600	27.900	28.050	28.175	28.400	168.725
	2	鹿屋クラブ	28.825	28.000	26.850	28.200	28.200	28.600	168.675
	3	日大櫻樹クラブ	28.150	27.950	27.050	28.175	28.350	28.000	167.675

個人総合

順	選手名	所 属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
36期	1	林 秀樹	9.300	9.900	9.600	9.500	9.775	9.800	57.875
	2	瀧美 良介	9.800	9.450	9.500	9.575	9.800	9.700	57.825
	3	馬 景華	9.650	9.850	9.050	9.800	9.700	9.050	57.100
27期	6	島田 利夫	9.625	9.400	9.150	9.400	9.650	9.200	56.425
37期	7	吉田 義経	9.325	9.250	9.250	9.525	9.500	9.500	56.350
38期	14	佐藤 弘典	9.000	9.500	9.100	9.500	9.000	9.550	55.650
34期	16	林 克彦	9.300	9.350	9.150	9.150	9.250	9.300	55.500
26期	24	川畑 龍雄	9.550	9.500	8.200	9.150	9.250	9.400	55.050
34期	28	君嶋 孝之	9.200	9.300	8.650	9.250	9.200	9.300	54.900
36期	34	関根 功	9.000	9.050	9.000	9.300	9.000	9.200	54.550
38期	41	町田 知己	9.400	8.950	8.400	9.300	9.150	8.950	54.150
34期	56	中塚 伸次	9.450	8.700	8.600	7.850	9.200	9.650	53.450
33期	210	竹田 盛勝	0.000	9.150	0.000	0.000	9.150	0.000	18.300

2004 全日本社会人選手権大会 1部 仙台市体育館 2004/9/18-20

女子	順	選手名	所 属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
	1	森重 智子	藤村クラブ	8.850	8.600	7.850	8.350	33.650
	2	秋山 絵美里	西宮市体操協会	8.650	7.450	8.325	8.075	32.500
	3	今福 亜樹乃	宮城県体育協会	7.800	8.350	7.575	7.550	31.275
44期	4	日向 彩百合	日大櫻樹クラブ	8.400	7.500	7.100	8.050	31.050

2004 全日本社会人選手権大会 2部 仙台市体育館 2004/9/18-20

女子	順	選手名	所 属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
	1	清水 幹子	茗溪クラブ	9.850	9.500	9.300	9.450	38.100
	2	森川 裕子	天理クラブ	9.750	8.950	9.550	9.300	37.550
	3	監物 絵美	湘南	9.700	9.050	8.550	9.675	36.975

## 男子 個人成績

学年	順	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計						
2年	1	録澤 矩敏	日本体育大学	8.800	2	8.750	2	7.850	8.750	8.850	2	9.400	1	52.400		
2年	2	佐藤 誠	日本体育大学	8.450	6	8.550	3	8.550	2	9.250	2	8.650	4	8.750	5	52.200
3年	3	大門 晶	日本体育大学	8.950	1	8.050	5	7.650		9.100	3	8.600	6	9.350	2	51.700
2年	4	新藤 正晃	日本大学	8.600	5	8.000	6	9.000	1	8.750	7	8.800	3	8.050		51.200
3年	5	小田原玄弥	日本大学	8.250		7.400		7.500		9.350	1	9.000	1	9.350	3	50.850
2年	7	福島 良次	日本大学	8.650	4	8.800	1	8.450	5	8.700		7.450		8.300		50.350
3年	10	伊藤 昇	日本大学	8.350		7.800	7	7.750		8.800	6	8.000		8.350	8	49.050
3年	11	巻島晃一郎	日本大学	8.150		7.500		7.900		8.400		8.050		8.900	4	48.900
3年	14	笠木 翔平	日本大学	8.100		6.900		7.650		9.000	4	7.850		7.450		46.950

## 2004 関東学生交流大会

## 神奈川県立体育センター

## 2004/10/16-17

## 女子 個人成績

学年	順	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計				
4年	1	加藤 由佳	日本体育大学	9.575	1	8.250	4	9.200	1	8.500	1	35.535
3年	2	志村 美紀	東京女子体育大学	8.900	4	7.900		8.850	2	8.500	1	34.150
2年	3	飯島 美葉	日本体育大学	8.800	6	8.600	1	8.100	8	8.100		33.600
3年	10	和泉 恵	日本大学	8.850	5	7.100		8.000		8.250	6	32.200
2年	14	新井 麻衣	日本大学	7.800		8.000		7.300		7.700		30.800
3年	16	松永百合江	日本大学	8.650		7.000		6.950		7.600		30.200

## 2004 関東学生新人大会

## 神奈川県立体育センター

## 2004/10/16-17

## 男子 個人成績

順	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	日本体育大学	36.300	34.450	36.900	36.775	35.900	36.425	217.050
2	日本大学	34.750	35.900	35.050	36.825	34.550	34.300	211.375
3	順天堂大学	35.250	33.425	33.750	36.250	35.550	35.075	209.300

## 個人総合

学年	順	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計						
1年	1	水島 颯敏	日本体育大学	9.550	1	9.300	2	8.500		9.225	6	9.300	2	9.700	1	55.575
1年	2	星 陽輔	順天堂大学	9.300	2	9.375	1	8.350		9.050		9.050	4	9.675	2	54.800
1年	3	沖口 誠	日本体育大学	9.050	4	8.950	7	9.150	5	9.700	1	8.150		9.050	4	54.050
1年	5	松本 颯秀	日本大学	8.700		9.100	4	9.200	4	9.175	8	8.600		8.450		53.225
1年	7	田中 和仁	日本大学	8.450		9.000	6	8.950	7	8.800		9.350	1	8.100		52.650
1年	10	関 圭一郎	日本大学	8.900	6	9.200	3	8.300		8.650		8.200		8.950	7	52.200
1年	12	千葉 厚太	日本大学	8.650		8.550		8.600		9.325	3	8.400		7.950		51.475
1年	15	渡邊 大輔	日本大学	8.250		8.600		8.100		9.300	4	7.800		8.800		50.850
1年	17	堂河内 佑	日本大学	8.400		8.400		8.200		8.350		8.400		8.550		50.300
1年	21	増子 靖和	日本大学	8.250		8.050		7.950		8.300		8.300		8.250		49.100
1年	22	小山 洋平	日本大学	8.250		7.750		8.100		8.450		8.400		8.100		49.050
1年	23	木島 宏史	日本大学	8.500		7.700		8.000		9.025		8.050		7.700		48.975

## 2004 関東学生新人大会

## 神奈川県立体育センター

## 2004/10/16-17

## 女子 個人成績

順	チーム名	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	日本体育大学	36.275	35.725	35.050	35.725	142.775
2	日本女子体育大学	35.200	33.175	31.300	33.825	133.500
3	東海大学	35.025	32.200	32.775	33.300	133.300
5	日本大学	34.750	32.200	29.700	32.550	129.200

## 個人総合

学年	順	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計				
1年	1	溝口絵里加	日本体育大学	9.300	1	9.400	1	9.400	1	9.000	2	37.100
1年	2	萩原 香菜	東海大学	8.850		9.100		9.100	2	8.975	3	36.025
1年	3	広瀬 茜	日本体育大学	9.250	2	9.075	4	8.750	6	8.875	4	35.950
1年	16	佐橋 春枝	日本大学	8.250		8.325	8	8.250		8.325		33.150
1年	17	広田 望	日本大学	8.700		8.275		7.650		8.150		32.775
1年	20	立石 絵里	日本大学	9.100	4	7.850		7.350		8.075		32.375
1年	28	茂木瀬里香	日本大学	8.700		7.750		6.450		8.000		30.900

2004 第22回DTBポーカー  
男子種目別予選 (日大・桜樹関係者のみ)

11/26-28  
ドイツ・シュツットガルト

ゆか	12	芳村 裕生	JPN	9.150
つり輪	8	芳村 裕生	JPN	9.400
平行棒	7	芳村 裕生	JPN	9.400

2004 国民体育大会 熊谷スポーツ文化公園彩の国くまがやドーム(埼玉)2004/10/25-27  
男子 成年男子団体総合

順位	県名	メンバー名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	計
1	埼玉	齊藤,佐々木,馬場,楠,水鳥	27.350	27.975	28.125	28.175	28.200	28.450	168.275
2	岡山	清水,浅田,西峯,速見,沖口	27.350	26.900	28.125	28.800	27.150	27.450	165.775
3	大阪	上田,峯,森(起),塚本,森(光)	26.250	26.250	27.500	28.275	28.000	27.700	163.975
5	兵庫	松谷,木島,藤野,杉谷,中村	26.400	25.800	27.875	28.175	27.400	26.200	161.850
6	神奈川	富岡,白石,小島,飯嶋,内田	26.150	25.250	27.925	27.750	27.550	26.900	161.525
10	北海道	青山,森田,小林,三浦,西村	25.150	24.100	27.700	27.300	26.100	26.550	156.900
11	熊本	三好,徳永,増田,大坪,牛之濱	25.800	21.650	26.750	27.375	25.750	25.250	152.575
15	山形	鈴木,佐藤(勇),石川,千葉,佐藤(悠)	23.850	22.950	24.250	26.400	24.400	23.050	144.900
16	長野	渡辺,坂口,市川,吉田,柳澤	22.650	21.500	24.550	25.850	23.350	22.700	140.600

2004 国民体育大会 熊谷スポーツ文化公園彩の国くまがやドーム(埼玉)2004/10/25-27  
女子 成年女子団体総合

順位	県名	メンバー名	跳馬	段違い	平均台	ゆか	計
1	大阪	佐原,田中,小谷,下村,大澤	28.000	27.350	25.825	26.700	107.875
2	宮城	今福,山本,藤木,加藤,小俣	26.800	26.225	24.900	25.875	103.800
3	埼玉	高橋,関口,根岸,新井,柳沢	25.175	25.450	24.600	26.025	101.250
7	熊本	首藤,錦井(智),上田,桑原,錦井(瞳)	26.100	23.800	24.450	25.525	99.875
11	長野	西,倉石,上野,北島,境	24.900	23.425	22.100	22.650	93.075
13	山形	相馬,後藤,渡部,岡田	24.150	22.550	21.075	23.350	91.125

2004 全日本体操競技選手権大会 代々木第一体育館(東京) 2004/11/12-14

男子	順位	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
	1	徳洲会体操クラブ	45.700	45.425	46.925	27.200	26.900	48.000	280.150
	2	日本体育大学	45.600	45.550	46.350	46.400	45.450	47.300	276.650
	3	コナミススポーツクラブ	46.300	44.050	47.425	46.350	44.075	45.750	273.950
	4	順天堂大学	44.850	43.700	43.650	45.625	46.175	45.475	269.475
	5	日体スワロー	44.500	42.350	46.225	45.475	44.800	45.750	269.100
	6	筑波大学	44.300	42.050	45.275	45.525	44.775	43.300	265.225
	7	日本大学	44.700	39.900	44.600	45.750	45.050	44.050	264.050

個人総合個人成績

	順位	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
	1	米田 功	徳洲会体操クラブ	9.500	9.375	9.300	9.550	9.425	9.750	56.900
	2	塚原 直也	朝日生命	9.300	9.550	9.600	9.325	9.350	9.400	56.525
	3	富田 洋之	セントラルスポーツ	8.050	9.625	9.725	9.475	9.775	9.700	56.350
38期	23	林 弘策	コナミススポーツクラブ	9.200	8.750	9.300	9.200	9.250	8.550	54.250
45期	25	芳村 裕生	コナミススポーツクラブ	9.350	9.250	9.500	9.375	7.500	9.250	54.225
43期	33	鏡 尚志	朝日生命・AGクラブ	8.600	8.750	8.900	9.100	8.950	9.300	53.600
4年	38	塚本 泰裕	日本大学	9.100	7.650	9.300	9.300	9.250	8.900	53.500
1年	40	田中 和仁	日本大学	8.750	8.600	8.450	8.750	9.500	9.400	53.450
3年	45	江原 嘉一	日本大学	8.900	7.850	8.850	9.275	9.100	9.250	53.225
3年	45	飯嶋 顕	日本大学	8.250	9.350	9.375	9.000	7.950	9.300	53.225
44期	48	佐藤 佑介	日大桜樹クラブ	8.250	9.200	8.300	8.950	9.150	8.950	52.800
3年	48	山口 悠樹	日本大学	9.100	8.400	8.800	9.050	9.000	8.450	52.800
4年	56	森 光大	日本大学	8.700	7.950	8.250	9.125	8.950	9.250	52.225
2年	59	西峯 賢二	日本大学	9.350	7.650	7.750	9.550	8.350	9.400	52.050
36期	62	岩井 則賢	コナミススポーツクラブ	9.000	6.600	9.550	9.000	8.850	9.000	52.000
1年	63	松本 憲秀	日本大学	8.850	7.450	9.150	9.325	8.400	8.800	51.975
2年	64	内田 友幸	日本大学	8.900	7.400	8.900	9.325	8.900	8.500	51.925
2年	69	守屋 貴夫	日本大学	8.100	9.150	7.800	9.125	8.650	8.800	51.625
1年	78	関 圭一郎	日本大学	8.700	7.800	7.900	8.500	7.600	8.400	48.900

個人総合

	順位	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
	1	富田 洋之	セントラルスポーツ	8.975	9.625	9.775	9.475	9.400	9.700	56.950
	2	塚原 直也	朝日生命	9.300	9.400	9.575	9.325	9.375	9.475	56.450
	3	米田 功	徳洲会体操クラブ	9.650	9.325	9.200	9.050	9.500	9.700	56.425
38期	17	林 弘策	コナミススポーツクラブ	9.100	9.000	9.200	9.050	9.100	9.175	54.625
43期	19	鏡 尚志	朝日生命・AGクラブ	9.350	9.000	8.900	9.200	8.550	9.275	54.275
45期	21	芳村 裕生	コナミススポーツクラブ	9.450	7.050	9.400	9.450	9.200	9.400	53.950
4年	36	塚本 泰裕	日本大学	9.150	5.850	8.650	9.150	9.050	8.700	50.550

種目別 (日大・桜樹関係者のみ)

ゆか	6	芳村 裕生	コナミススポーツクラブ	9.325
あん馬	5	飯嶋 顕	日本大学	8.400
つり輪	4	岩井 則賢	コナミススポーツクラブ	9.550
跳馬	5	塚本 泰裕	日本大学	9.212
平行棒	6	田中 和仁	日本大学	9.325

2004 全日本体操競技選手権大会 代々木第一体育館(東京) 2004/11/12-14

女子	順位	チーム名	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
	1	朝日生命体操クラブ	44.050	44.425	42.300	41.950	172.725
	2	戸田市スポーツセンター	42.250	40.925	41.025	41.350	165.550
	3	青森大学	43.925	41.775	38.600	39.600	163.900
	4	東京女子体育大学	42.425	39.575	39.675	38.500	160.175
	5	レジックススポーツ	39.325	39.775	39.750	39.025	157.875
	6	京都ジャンピング体操クラブ	41.475	36.775	37.275	38.350	153.875

団体総合個人成績

	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計	
1	大島 杏子	朝日生命体操クラブ	9.025	9.325	8.950	8.875	36.175	
2	上村 美揮	立教女学院短期大学	8.600	9.325	9.125	8.425	35.475	
3	石坂真奈美	朝日生命体操クラブ	9.125	9.200	8.150	8.875	35.350	
4年	37	錦井 智子	日本大学	7.500	8.100	8.325	7.750	31.675

個人総合

	順位	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
	1	市川 千尋	朝日生命体操クラブ	8.650	8.700	9.125	8.950	35.425
	2	佐原 礼香	青森大学	8.850	8.875	8.950	8.625	35.300
	3	石坂真奈美	朝日生命体操クラブ	9.225	9.250	7.600	9.100	35.175

# 平成 16 年度 懇親会報告

## 国体懇親会

日時) 平成 16 年 10 月 25 日(月)18:30~

会場) 熊谷; 清の家

会費) 7,000 円

幹事) 8; 林恵子、15; 椎原英世、

16; 西野晴久、19; 高橋和秀・

塚越美和子、36; 林秀樹

参加) 1; 石井征也、4; 早田卓次、

8; 林恵子・山内悟、10; 安藤泰行、

11; 原弘吉、13; 徳永富夫、15; 椎原英世、

16; 北村弘文・錦井利臣・西野晴久、

17; 梶山広司、19; 高橋和秀・塚越美和子・

松本俊一・松本真利子、20; 後藤こずえ、

25; 小野田博之、27; 島田利夫、

28; 殿垣哲也、29; 高橋良明・名倉靖之、

31; 井本吉彦、32; 大塚孝幸・山田美穂、

33; 竹田盛勝・三富洋昭、34; 君嶋孝之・

中塚伸次・西川大輔、36; 染谷忠勝・

林秀樹、37; 葛城雅恵・吉田義経、

38; 佐藤弘典、39; 小沼弘明、40; 斎藤寛、

41; 渡辺稔宜、43; 葛西玲広・斎藤みずき・

古川哲也、45; 西村祥・松谷育英

以上 43 名

報告) 皆様のご協力により埼玉国体が無事終了いたしました。また、懇親会には石井会長、早田先生をはじめとする、多くの先輩方にご参加いただきありがとうございました。平成 20 年には埼玉県でインターハイが開催されます。また 4 年後にお会いできることを楽しみにしています。本当にありがとうございました。

## 有志新年会

日時) 平成 17 年 1 月 22 日(土)

17:00~20:00

場所) 新宿「栄寿司二号店」

会費) 5,000 円

幹事) 25; 遠藤幸一

参加) 遠藤幸雄(願)、石井征也(1)、堀田淳二(2)、

芳尾 明(2) 早乙女貞夫(3)、小俣里知子(4)、早田卓次(4)、山中勝男(5)、鶴見興人(6)、岩澤 稔(7)、海谷美代子(7)、小笠原光子(7)、原 弘吉(11)、山本好隆(11)、斎藤敬一(13)、宮澤久美子(13)、塚田和茂(13)、塚田千津代(13)、小笠原祥子(13)、久保光正(14)、渡部正行(14)、青木昭文(14)、山中ゆう子(15)、谷田部光則(15)、山崎信恵(15)、梶山広司(17)、平田倫敏(21)、遠藤幸一(25)、大野裕二(27)、長澤郁子(31)、佐藤寿治(32)、西川大輔(34)、葛西玲広(43)、佐藤佑介(44)、能勢龍二(44)、日向小百合(44)、田崎裕祐(45)

以上 37 名

## 総会懇親会

日時) 平成 17 年 3 月 26 日(土)17:00~

会場) ホテルサンルート東京「桔梗」

幹事) 遠藤幸一

会費) 男性 8 千円、女性 6 千円

参加) 遠藤幸雄、濱田靖一、勢能一男、石井正也、堀田淳二、芳尾明、吉川晃、上野剛、小俣里知子、菊地君男、早田卓次、木村多喜、小松武雄、山中勝男、鶴見興人、海谷美代子、佐藤勲、朝倉徳雄、菅野多賀子、山本好隆、望月敏正、徳永富夫、久保光正、山中ゆう子、北村弘文、梶山広司、梶山節子、佐々木敏子、松井登美枝、境保則、加藤真理、平田倫敏、遠藤幸一、長澤郁子、君嶋孝之、西川大輔、森泉貴博、宮根豊、後藤靖治、渋谷葉子、葛西玲広、佐藤佑介、能勢龍二、日向小百合、田崎裕祐

以上 47 名

報告) 早田先生の殿堂入り、ならびに梶山先生の教授昇格お祝いの会が、3月26日に開かれ、多くの方々が、お祝いにつけました。

濱田先生、勢能様に祝辞をいただき、遠藤先生の乾杯で歓談に入りました。終始和やか

な雰囲気、早田先生、梶山先生にお祝いの言葉を皆さんが運んでいたようです。

続いて、早田先生、梶山先生への花束の贈呈が行われ、両先生からは感謝、抱負のお言葉をいただきました。

ふたたび、会は歓談に入り、会の終盤に至るまで皆さん会話が尽きなかったようです。

帰り際には、早田先生より、早田先生の写真入り特製クオカードがみなさんに配られました。

当然、会は1次会でしめくられることなく、ほとんどの方が2次会に参加し、懇親を深めていました。

時間が経つのが早い、というもありきたりですが、その言葉がぴったりとくるほど、楽しい一時を過ごすことができました。ありがとうございます。

そしてなにより、早田先生、梶山先生。本当におめでとうございます。私ども桜樹会一同、心よりお祝い申し上げます。

私の目線からの話をさせていただくと、このような機会に諸先輩方と交流を深め、話をうかがうことにより、多くの貴重なお話や、アドバイスをいただけるので、私の知った顔にも、是非参加して欲しいと思います。

(44回卒； 佐藤佑介 記)

※各懇親会の幹事の方は、公私共にご多忙とは存じますが、①日時、②会場、③会費、④幹事および⑤参加者などの詳細を事務局まで文書（またはFAX等）にてご連絡をお願いします。また、その懇親会の報告（原稿）なども併せて送付（または送信）していただければ幸いです。なお、誠に恐縮とは存じますが、各懇親会の幹事についてはその地域のOB・OGの方々でお願い申し上げます。



## 平成16年度 日本大学桜樹会 第1回役員会報告

平成17年2月26日(土) 15:00~17:00  
新宿ホテルサンルート東京前「ルノアール」

電話 03-3374-6997

出席) 石井征也、小松武雄、岡本公子、海谷美代子、遠藤幸一、長澤郁子、葛西玲広、日向小百合

### I 報告事項

1. 会報38号(694通発送) 会報(720冊)141,520
2. 平成15年度総会報告——残金140,500(桜樹会会計へ)横浜・大珍楼にて開催。
3. 東日本インカレ 男子団体2位、女子団体7位
4. 2次予選 芳村裕生(45回卒)9位、林弘策(38回卒)18位⇒代表決定へ  
鏡尚志(43回卒)21位予選落ち
5. NHK杯 芳村裕生(45回卒)13位、林弘策(38回卒)18位
6. 全日本インカレ 男子団体3位、女子団体10位(2部へ)
7. 全日本 男子団体7位、女子個人:錦井予選37位
8. 関東新人 男子団体2位、女子団体5位
9. 日本大学体操部への補助費について ¥300,000-
10. 日大桜樹クラブへの社会人大会補助(事業費) ¥300,000-
11. 桜門会体操部補助 ¥40,000-
12. アテネ五輪餞別(役員のみ、早田、森泉) ¥60,000-
13. 総会返信状況(返信約150、総会出席10、懇親会出席15)

### II 審議事項

#### 1. 総会議事について

##### <役員改選>

特に問題もなく会が運営されているため、役員改選も留任ということが慣例化してしまっているが、引継ぎについても適任者と次期会長候補者について検討していきたい(石井)。高田副会長辞退の申し入れあり。会計監査については、1名は残して新しい人を入れ替えていくといいのではないかと(小松)。君嶋総務が栃木にいて事務作業の仕分けが難しく、事務局として身近に後継者を作りたい(遠藤)。総務を若干名として人を多くしてはどうか(石井)。以前、総務となっていないが総務の仕事を手伝ってくれた幹事がいたので、とくに会則を改正しなくてもいいのでは(遠藤)。次回役員会までに調整して役員会案を決める。

##### <会費・事務について>

定年の会員が出始め、名誉会員の制度の活用など検討する必要はないか。顧問も少なくなっているが(遠藤)。ブロックとしての機能よりも卒業期ごとの機能の方が有効

ではないか（海谷）。定年者に対して会費を減らすなどの対処はできないか（海谷）。今までの状況では事務作業負担が大きくなるため、本格的な事務分担などの改革を検討する必要がある（遠藤）。事務分担は、やはりそれを引き受けた人の責任の度合いで格差が生まれやすいので問題もある（海谷）。人を雇うことも視野に入れる必要があるのでは（海谷）。会費未納者の対応について再検討も必要だと思う（遠藤）。会員全員に確認することもできるのでは（岡本）。総会でも議論を継続していく。

#### <名簿について>

個人情報保護法の施行で少なくとも会としても名簿の扱いなど再検討する必要がある（遠藤）。名簿には流出に関する注意書きをする必要があるのでは（小松）。大きな組織でも法人でもないが、名簿に掲載することを避けた方がいい若い女性会員の携帯電話番号や本人が意識的に勤務先や電話の公表を避ける会員も出てきているので、総会でも議論を継続していく。

#### <総会後の懇親会>

集まりが悪い理由に会費設定（男8千円・女6千円）が高額で若い会員には厳しい感がある（葛西）。男女ではなく会費のような年代で分ける設定ではどうか（海谷）。遠方で参加できないがお祝いしたいという地方会員には記念品代制度はいいが、今回は大きな設定ではないので、参加される方に負担してもらうため金額設定を高くした（遠藤）。継続的に検討を進める。

#### 2. その他

来年度の事業としては、ユニバーシアードと世界選手権があるので、代表選手が学生あるいは会員から出た場合、壮行会を企画したい。体操部創部50周年記念行事については部長・監督の申し出により桜樹会として企画を考える。

#### ■役員会の予定：

平成17年3月21日（月・祝）午後2時～文理学部体操場＝会計監査作業、総会、総会後懇親会最終打合せとなっていたが、体操部が土浦合宿中のため不在。再度、会議の場所を調整して役員に連絡する。

調整した結果、第2回役員会は、3月21日（月・祝）午後2時から5時まで、都営新宿線新宿3丁目駅C8出口徒歩1分「ルノアール新宿3丁目店（地下会議室1号室）」で行うことにしました。外部施設利用のため、欠席者は早めに必ずご連絡ください。

以上

## 平成 16 年度 日本大学桜樹会 第 2 回役員会報告

平成 17 年 3 月 21 日 (月) 14:00~17:00

ルノアール新宿 3 丁目店

出席) 石井、菊地、小松、岡本、海谷、菅野、遠藤、葛西

### I 会計監査作業

### II 審議事項

1. 総会議事について <3月16日現在：総会 21 名、懇親会 42 名>

挨拶…会長：石井 征也

議長・書記（役員会案）…議長：吉川晃（2 回卒） 書記：葛西玲広（43 回卒）

#### <報告>

事業および行事報告…日本大学桜樹会・体操部関係；事務局（資料 1, 2 参照）

新入会員報告…平成 16 年度卒業生 男性 9 名、女性 2 名

#### <審議事項>

■平成 16 年度収支決算：承認（会費納入者の減少など）

■会計監査報告：小松会計監査が報告

■平成 17 年度事業および行事計画：事務局提案で進める

■平成 17 年度予算案：項目を整理。事業費に総会開催補助が含まれているが、実際には参加者から会費を集めて懇親会を開催し、余剰金として翌年会計に納めているのが実態である。支出項目に入れておくと実態とは異なった解釈をされることもあるので、会場費と予備費扱いとする。慶弔費は雑費扱いになっているが、予算化することは難しいので、雑費の扱いは手数料のみで慶弔費は予備費扱いとする。それらを調整して総会へはかる。

■役員選出（会長 1、副会長 2~3、総務 1~2、会計監査 2）（役員会案）…

会長：石井、副会長：早乙女、小俣、高田、総務：遠藤、葛西、会計監査：小松、岡本

■会員名簿について

個人情報保護法施行に伴い、会員名簿の内容について検討し、次の申し送り事項により作成する（会員名簿は従来どおり、2年に1度、発行する／会員名簿に不正利用しないようにする記述を掲載する／掲載情報は、卒業年、コード番号、氏名（旧姓）、現住所、現住所電話（固定電話）、出身校とする／印刷文字を大きくしてB5版とする／今回はとりあえず作り、今後、掲載してほしくない人は申し出る方法で掲載を調整する／入学年に合わせて分類掲載する）。

■懇親会について

特に式次第を設けない。司会を西川氏に依頼。開会において花束贈呈などの形式セレモニーを行う。

## 2004 年度

## 会費納入状況

156 名

総額

1,052,000 円

No.	月	日	氏名	金額	No.	月	日	氏名	金額
1	4	1	田崎 裕祐	2,000	44	5	25	大里 武光	6,000
2	4	1	西村 祥	2,000	45	5	25	佐藤 寿治	4,000
3	4	1	松谷 育英	2,000	46	5	25	西川 大輔	4,000
4	4	1	松本 陽奈	2,000	47	5	25	森泉 貴博	8,000
5	4	1	山北恵理子	2,000	48	5	25	斉藤 美幸	2,000
6	4	1	山本加奈絵	2,000	49	5	26	佐藤 勲	6,000
7	4	1	吉野 匠	2,000	50	5	26	岩田 惇	6,000
8	4	1	芳村 裕生	2,000	51	5	26	工藤 昌二	6,000
9	4	1	若松 伸	2,000	52	5	26	木下 咲夫	12,000
10	4	1	栗原 博人	6,000	53	5	26	佐藤 久恵	6,000
11	4	1	大嶋 勇	6,000	54	5	26	中村 幸子	6,000
12	4	1	小俣里知子	12,000	55	5	26	山下 敦	6,000
13	4	1	木村 多喜	12,000	56	5	26	栗山 香織	2,000
14	4	1	山中 勝男	10,000	57	5	26	斉藤 寛	4,000
15	4	15	梅崎 捷也	12,000	58	5	27	早乙女 貞夫	12,000
16	4	16	田中 康義	18,000	59	5	27	春山 文子	6,000
17	4	27	伊東 恭一	6,000	60	5	27	海谷美代子	6,000
18	5	19	日向彩百合	2,000	61	5	27	朝倉 徳雄	6,000
19	5	21	金子 正史	6,000	62	5	27	望月 敏正	24,000
20	5	21	田野 哲	6,000	63	5	27	川久保祐司	6,000
21	5	21	金子 洋平	6,000	64	5	27	大坂 知恵	4,000
22	5	21	浅田 泰男	6,000	65	5	27	中根 均	4,000
23	5	21	鶴見 興人	6,000	66	5	27	平井 良幸	4,000
24	5	21	真島 孝禮	6,000	67	5	27	斉藤由美子	2,000
25	5	21	岡本 公子	6,000	68	5	28	堀田 淳二	6,000
26	5	21	伊藤 勇	6,000	69	5	28	梶山 広司	6,000
27	5	21	安藤 泰行	6,000	70	5	28	松下 悦子	6,000
28	5	21	高波 司雄	6,000	71	5	28	本池 浩次	6,000
29	5	21	山崎 忠夫	12,000	72	5	28	井本 吉彦	4,000
30	5	21	境 保則	6,000	73	5	31	船木 政明	6,000
31	5	21	宮崎真由美	4,000	74	5	31	宇野 正信	6,000
32	5	21	伊藤 訓子	2,000	75	5	31	青木 昭文	6,000
33	5	24	平川 文雄	6,000	76	5	31	喜多川和也	4,000
34	5	24	山本 好隆	6,000	77	5	31	成瀬 功	10,000
35	5	24	石井 悦夫	6,000	78	6	1	相原 和明	6,000
36	5	24	村上 吉正	6,000	79	6	1	松本 俊一	6,000
37	5	24	久保田一行	6,000	80	6	1	大塚 政子	4,000
38	5	24	後藤こずえ	12,000	81	6	1	梅田 陽子	4,000
39	5	24	高井 一成	4,000	82	6	2	佐伯佳奈子	4,000
40	5	24	藤原 由文	8,000	83	6	3	上野 剛	6,000
41	5	24	柳沢 聖子	4,000	84	6	3	高橋 正典	6,000
42	5	25	渡辺美弥子	6,000	85	6	3	岡本みどり	12,000
43	5	25	正木 恭子	6,000	86	6	3	谷田部光則	6,000

2004 年度			会費納入状況		156 名	総額			1,052,000 円	
No.	月	日	氏名	金額	No.	月	日	氏名	金額	
87	6	3	小坂井一弘	6,000	130	7	16	水島 宏一	4,000	
88	6	3	青木 香乃	2,000	131	7	22	藤田 力雄	6,000	
89	6	3	青木 香乃	2,000	132	8	2	高橋 千春	6,000	
90	6	4	志村 久子	6,000	133	8	9	大江 晴久	4,000	
91	6	4	川畑 龍雄	4,000	134	8	11	平田 芳和	6,000	
92	6	4	山下 大介	2,000	135	8	16	中山 孝之	4,000	
93	6	7	小柴 守夫	6,000	136	8	27	水島 克己	6,000	
94	6	7	山内 悟	6,000	137	8	31	渡辺 英明	6,000	
95	6	9	近藤 明	6,000	138	8	31	今木 重光	4,000	
96	6	9	斉藤 敬一	6,000	139	9	18	遠藤 慶	4,000	
97	6	10	天童 毅	4,000	140	11	9	山田 真二	2,000	
98	6	10	三富 洋昭	4,000	141	11	16	高見 等	6,000	
99	6	11	松永 政行	8,000	142	12	20	舟山 忠広	6,000	
100	6	11	門脇 年宏	2,000	143	12	27	今西 悦子	6,000	
101	6	14	矢木 幹男	6,000	144	12	29	小野 昌男	10,000	
102	6	14	樫 一幸	6,000	145	1	12	君嶋 孝之	4,000	
103	6	14	矢嶋 利康	8,000	146	1	14	門脇 隆	6,000	
104	6	15	和田 勝	6,000	147	1	14	松田 洋	6,000	
105	6	15	若松 洋一	4,000	148	1	22	堀田 淳二	6,000	
106	6	18	松本 恭子	6,000	149	1	22	芳尾 明	30,000	
107	6	21	新関 奈美	4,000	150	1	22	小笠原祥子	10,000	
108	6	21	宇野 大樹	2,000	151	1	22	塚田 和茂	12,000	
109	6	22	小貫 孝春	6,000	152	2	17	原 弘吉	12,000	
110	6	24	錦井 利臣	6,000	153	2	23	町田 知己	4,000	
111	6	24	浜崎 誠	2,000	154	2	26	遠藤 幸一	16,000	
112	6	25	小笠原光子	6,000	155	2	26	石井 征也	18,000	
113	6	25	林 弘策	4,000	156	2	26	石田 一典	10,000	
114	6	28	前野 冷子	30,000						
115	6	28	寺元 良人	6,000						
116	6	28	畠山 繁博	6,000						
117	7	1	宮川 直人	6,000						
118	7	1	小野田博之	6,000						
119	7	1	橋本 博之	8,000						
120	7	2	岡崎 高典	58,000						
121	7	2	金野 東	8,000						
122	7	5	山本 俊子	18,000						
123	7	5	吾妻 晶子	4,000						
124	7	5	川崎 聖子	4,000						
125	7	5	古川 哲也	10,000						
126	7	7	田中 章二	6,000						
127	7	8	巻島 久	6,000						
128	7	12	平田 倫敏	6,000						
129	7	13	島田 利夫	4,000						

## 2004 年度 日本大学桜樹会収支決算書

2004 年 4 月 1 日～

2005 年 3 月 31 日

(収支決算書)

会計監査

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額
収入総額	2,610,000	2,651,429	41,429
支出総額	2,610,000	1,292,604	1,317,396
差引(次年度繰越金)		1,358,825	

(収入明細)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	備 考
前年度繰越金	1,406,555	1,406,555	0	
会 費	1,200,000	2,651,429	1,451,429	156 名分
寄 付	0	2,651,429	2,651,429	
雑収入	3,445	2,651,429	2,647,984	利息(普通・定額)、懇親会
合 計	2,610,000	9,360,842	6,750,842	

(支出明細)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	備 考
事業費	1,200,000	1,292,604	▲ 92,604	会報第38号発行 141,520、競技会参加補 助300,000、餞別 60,000、総会開催補助 100,000
補助費	330,000	1,292,604	▲ 962,604	体操部補助300,000、桜 門会登録補助40,000
会議費	50,000	1,292,604	▲ 1,242,604	会議室使用料(役員会)
通信費	300,000	1,292,604	▲ 992,604	会報・名簿郵送料
事務費	50,000	1,292,604	▲ 1,242,604	原稿用紙、印刷用具購入 他
雑費	30,000	1,292,604	▲ 1,262,604	口座手数料他
予備費	650,000	1,292,604	▲ 642,604	
合 計	2,610,000	9,048,228	▲ 6,438,228	

(特別積立金)

記念事業費	500,000
-------	---------

# 平成16年度 日本大学桜樹会総会議事報告

平成17年3月26日(土) 15:00~16:10

ホテルサンルート東京メヌエット

出席) 石井征也、堀田淳二、吉川晃、小俣里知子、菊地君男、木村多喜、早田卓次、小松武雄、岡本公子、海谷美代子、菅野多賀子、外山宜男、梶山広司、遠藤幸一、長澤郁子、君嶋孝之、西川大輔、葛西玲広、佐藤佑介、日向小百合、能勢龍二、田崎裕祐  
以上22名

委任状235通(現住所不明4通) ; 通知689 ('05/03/26 現在返信率37.6%)

I 挨拶…会長 石井 征也

II 議長・書記選出

議長 ; 吉川晃 ( 2回卒)

書記 ; 葛西玲広 ( 43回卒)

III 報告事項

1. 事業および行事報告…日本大学桜樹会・体操部関係 ; 事務局

※競技会成績、懇親会報告および役員会報告等の詳細については別ページ。

2. 新入会員報告…事務局(新卒者 男性9名、女性2名)

3. 会員名簿の改正について

※個人情報保護法施行に伴う対応についての詳細は別ページ。

<主な意見>

- ・勤務先を記載することで社会的な面においてサポートができるのではないかと
- ・勤務先のみにし、勤務先電話番号は記載しないというのはいかがでしょうか
- ・勤務先に電話したところ転勤や退職で名簿に記載されている情報では、連絡がほとんどとれない
- ・勤務先に関して、現在保有する情報の多くは、確実性が低いので記載するのはどうだろうか
- ・情報を最小限にし、文字を大きくしたい  
→今回返信された情報を基に、勤務先名称のみを記載し、勤務先電話番号は記載しない方向で進める

IV 審議事項

1. 平成16年度収支決算報告…事務局(別ページ)

・例年より会費納入者が少なかった

・会員関係者の慶弔費(15,000の花を2名分)を雑費より支出

2. 会計監査報告…小松武雄(5回卒)

3. 平成16年度収支決算の認否 → 承認

4. 平成17年度事業および行事計画…事務局（別ページ）
  - ・総会は年度末にこだわらなくてもいいのではないか
  - ・本学関係者より日本代表が出た場合、壮行会を開催したい
5. 平成17年度事業および行事計画の認否 → 承認
6. 平成17年度予算案…事務局（別ページ）
  - ・雑費にて慶弔費を支出していたが今年度より予備費にて
  - ・今年度名簿発行のためその分、通信費をプラスした
7. 平成17年度予算案の認否 → 承認
8. 役員選出（会長1、副会長2～3、総務1～2、会計監査2）

＜平成17・18年度選出役員＞

会 長；石井征也

副 会 長；早乙女貞夫、小俣里知子、高田信興

総 務；遠藤幸一、葛西玲広

会計監査；小松武雄、岡本公子

9. その他

○行事等の会費について

現在、男女別に会費設定をしているが、年代別にしてはどうか

- ・会費を年代別にする事で若年層の参加者がアップするのでは
- ・同時に、定年世代の会費も検討あり
- ・桜樹会費より補助金を出すことで、会費の負担を軽減できないか  
→役員会にて審議



個人情報保護法施行に伴う対応について  
(平成16年度会員総会資料)

日本大学桜樹会役員会

個人情報保護法とは、個人の権利と利益を保護する為に、個人情報を取得し取り扱っている事業者（個人情報データベース等に含まれる個人情報の数が合計5000人を超えているもの）に対し、様々な義務と対応を定めた法律です。2005年4月より全面施行が予定されています。その法律は、企業が守らなければならない義務を定め、それに違反した場合には行政機関が処分を行なうという性格を持っています。

「個人情報」とは、「生存する個人に関する情報であつて、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの（他の情報と容易に照合することができ、それによって当該個人を識別できるものを含む）」と定義されています。

上記のことから、逝去者や現住所不明者を含めて825名の本会に関しては、法律の対象となる事業者とはいえません。しかし、個人情報の扱いが慎重になる社会の現状を検討し、2005年度より名簿発刊について次の点に配慮することにしましたのでお知らせいたします。

1. 会員名簿は従来どおり、2年に1度、発行する。
2. 会員名簿に不正利用しないようにする記述を掲載する。
3. 掲載情報は、卒業年、コード番号、氏名（旧姓）、現住所、現住所電話番号（携帯電話番号は掲載しない）、出身校とする。
4. 卒業年での整理を入学年に変更する。
5. B5版にて文字を大きくする。
6. 掲載を望まない会員から情報削除の連絡を受けた場合、今後の発刊において掲載をしないようにする。特に申し出がない場合は、そのまま掲載する。

※上記、総会出席者多数により、勤務先名は最新の情報をもとに掲載することになった。

## 平成 17 年度 役員一覧

<会 長> 1;石井 征也  
<副 会 長> 3;早乙女貞夫、 4;小俣里知子、 4;高田 信興  
<会計監査> 5;小松 武雄、 7;岡本 公子  
<総 務> 25;遠藤 幸一、 43;葛西 玲広

以上 平成 16 年度総会にて決定

### <幹 事>17 名

2;吉川 晃  
4;菊地 君男・木村 多喜・早田 卓次  
5;小栗 郁郎  
6;鶴見 興人  
7;海谷美代子  
9;朝倉 徳雄  
11;原 弘吉  
14;外山 宜男  
17;梶山 広司  
20;渡辺 嘉三  
29;水島 宏一  
31;長澤 郁子  
34;西川 大輔  
44;佐藤 佑介  
44;日向彩百合

### <ブロック幹事>15 名

北 海 道 … 5;中島 元  
東 北 … 7;佐藤 勲、 11;宇野 正信  
北 信 越 … 8;船木 政明、 14;五十嵐久人、 15;住廣 晃  
東 海 … 20;慶田盛 定  
近 畿 … 8;小柴 守夫、 11;山田 隆士  
中 国 … 13;中谷 秀明、 25;小野田博之  
四 国 … 8;山崎 智彦、 33;橋本 博之  
九州・沖縄 … 5;磯部 忠通、 16;錦井 利臣

以上 会長指名により決定

※本役員一覧表をもって委嘱状にかえる。

## 平成 17 年度 事業および行事計画

月	日	事業および行事内容	場 所
4	未定	第 1 回役員会	未定
5	4～5	世界選手権 2 次予選ほか	代々木第一体育館
	13～15 下旬	東日本インカレ（応援） 会報 39 号発行・発送	岩手県営体育館
7	8～9	世界選手権最終予選、NHK 杯ほか	サンドーム福井
8	7～9	インターハイ（懇親会）	千葉ポートアリーナ
	12～15	ユニバーシアード	トルコ；イズミル
9	1～3	全日本インカレ（応援・懇親会）	愛知；小牧市総合体育館
	17～19 未定	社会人（選手派遣・応援・懇親会） 第 2 回役員会	栃木；宇都宮 未定
10	13～16	全日本（応援・懇親会）	尼崎市記念公園総合体育館
	21～23	関東学生新人・交流（応援）	神奈川県立体育センター
	23～26	国体（懇親会）	岡山県体育館
	29～11/6	東アジア大会	マカオ
11	21～27	世界選手権	オーストラリア・メルボルン
	26～27	忘年会（有志）	熱海；ホテル貫一
12			
1	9～13	アジア体操選手権	インド
	21	新年会（有志）	新宿；栄寿司二号店
3	未定	第 3 回役員会（会計監査作業）	未定
	未定	平成 17 年度総会・懇親会	未定

※変更もありますのでご注意ください。

2005 年度 日本大学桜樹会予算案

2005 年 4 月 1 日～

2006 年 3 月 31 日

(収支決算書)

項 目	予 算 額	前年予算額	予算差額
収入総額	2,559,000	2,610,000	▲ 51,000
支出総額	2,559,000	2,610,000	▲ 51,000
差引(次年度繰越金)	0	0	

(収入明細)

項 目	予 算 額	前年予算額	予算差額	備 考
前年度繰越金	1,358,825	1,406,555	▲ 47,730	
会 費	1,200,000	1,200,000	0	
寄 付	0	0	0	
雑収入	175	3,445	▲ 3,270	利息
合 計	2,559,000	2,610,000	▲ 51,000	

(支出明細)

項 目	予 算 額	前年予算額	予算差額	備 考
事業費	1,000,000	1,200,000	▲ 200,000	会報第39号・名簿2005発行;500,000、各競技会参加補助;500,000
補助費	340,000	330,000	10,000	体操部補助300,000、桜門会登録補助40,000
会議費	50,000	50,000	0	会議室使用料
通信費	350,000	300,000	50,000	会報他郵送料
事務費	50,000	50,000	0	原稿用紙、印刷用具購入他
雑 費	20,000	30,000	▲ 10,000	口座手数料
予備費	749,000	650,000	99,000	
合 計	2,559,000	2,610,000	▲ 51,000	

(特別積立金)

記念事業費	500,000
-------	---------

平成17年度(2005年度) 体操競技(競技会予定)

月		日		曜		月		日		曜		大会名		場所	
4	15	金	～	4	17	日	第21回東日本学生体操競技グループ選手権大会	神奈川県立体育センター							
4	15	金	～	4	17	日	第47回関西学生体操選手権大会	舞洲アリーナ							
4	23	土	～	4	24	日	第52回東海・北陸学生体操選手権	小牧市総合運動公園パークアリーナ小牧							
5	4	水	～	5	5	木	第38回世界体操競技選手権大会第2次選考会兼第23回ユニバーシアード大会日本代表決定競技会兼第4回東アジア競技大会第2次選考会	代々木第一体育館							
5	7	土	～	5	8	日	第53回九州学生体操競技選手権	佐賀県立総合体育館							
5	14	土	～	5	15	日	第39回東日本学生体操競技選手権	岩手県営体育館							
5	20	金	～	5	21	土	第55回西日本学生体操選手権	広島県立総合体育館							
6	3	金	～	6	5	日	高体連関東ブロック	緑ヶ丘スポーツ公園(山梨)							
6	16	木	～	6	18	土	高体連北海道ブロック	函館市民体育館							
6	17	金	～	6	19	日	高体連中国ブロック	広島県立総合体育館							
6	18	土	～	6	19	日	高体連東海ブロック	三重県営サンアリーナ							
6	18	土	～	6	19	日	高体連近畿ブロック	大阪市中央体育館							
6	18	土	～	6	19	日	高体連四国ブロック	高知県立青少年センター							
6	24	金	～	6	26	日	高体連東北ブロック	山形市総合スポーツセンター							
6	24	金	～	6	26	日	高体連九州ブロック	熊本県立総合体育館							
7	8	金	～	7	9	土	第44回NHK杯兼第38回世界体操競技選手権大会日本代表決定競技会兼第4回東アジア競技大会日本代表決定競技会	福井県・サンドーム福井							
7	22	金	～	7	25	月	2005西日本ジュニア体操競技選手権大会	大阪・大阪市中央体育館							
7	27	水	～	7	29	金	2005東日本ジュニア体操競技選手権大会	東京・駒沢体育館							
8	7	日	～	8	9	火	全国高校総体	千葉ポートアリーナ							
8	12	金	～	8	15	月	第23回ユニバーシアード	トルコ・イズミル							
8	12	金	～	8	17	水	2005全日本ジュニア体操競技選手権大会	神奈川・横浜文化体育館							
8	19	金	～	8	21	日	第36回全国中学校体育大会	静岡市立中央体育館							
9	1	木	～	9	3	土	第59回全日本学生体操競技選手権大会	愛知・小牧市総合体育館							
9	17	土	～	9	19	月	全日本社会人選手権大会	栃木・宇都宮							
9	18	日	～	9	19	月	2005国際ジュニア体操競技大会	神奈川・横浜文化体育館							
10	13	木	～	10	16	日	第59回全日本体操競技選手権大会	尼崎市記念公園総合体育館							
10	21	金	～	10	23	日	平成17年度関東学生新人体操競技選手権	神奈川県立体育センター							
10	21	金	～	10	23	日	平成17年度関東学生交流体操競技選手権	神奈川県立体育センター							
10	23	日	～	10	26	水	第60回国民体育大会(体操競技)	岡山県・岡山県体育館							
10	29	土	～	10	30	日	第35回中部日本学生新人体操選手権大会	名古屋レインボーホール							
10	29	土	～	11	6	日	第4回東アジア競技大会	マカオ							
11	19	土	～	11	20	日	第37回関西学生体操新人選手権	向日市民体育館							
11	20	日	第48回九州学生体操競技新人大会		熊本県立体育館										
11	20	日	第38回東北・北海道学生体操競技選手権		未定										
11	21	月	～	11	27	日	第38回世界体操競技選手権大会	オーストラリア・メルボルン							
12	12	月	2005中日カップ名古屋国際体操競技選手権大会		名古屋										
2006															
1	9	月	～	1	13	金	第3回アジア体操選手権大会	インド							
3	27	月	～	3	28	火	第6回全国体操小学生大会	内原町健康増進センター体育館							
3	28	火	第22回全国高校体操競技選抜大会		富山市総合体育館										

※事業計画は変更の可能性があります。ご注意ください。

# 平成 17 年度 体操部役員および部員

## 体操部役員

部長；早田 卓次      副部長；渡辺 馨  
 監督；梶山 広司      コーチ；長澤 郁子、西川 大輔

## 体操部員 51 名(男子 35 名、女子 16 名)

4 年；  
 山口 悠樹／洛南高  
 小田原玄弥／埼玉栄高  
 飯嶋 颯／日大藤沢高  
 城崎 大樹／湘南工大附高  
 江原 嘉一／市立沼田高  
 清水 昭幸／関西高  
 吉田 秀登／長野日大高  
 巻島晃一郎／れいめい高  
 伊藤 昇／桐生工業高  
 笠木 翔平／修徳高  
 村田麻衣子／鶴見女子高  
 松永百合江／土浦日大高  
 和泉 恵／土浦日大高  
 田崎 晶子／熊本学大附高  
 3 年；  
 西峯 賢二／関西高  
 守屋 貴夫／洛南高  
 池田 賢明／旭川大学高  
 内田 友幸／横浜商大附高  
 新藤 正晃／清風高  
 福島 良次／湘工大付属高  
 平川 雄貴／能代高  
 市角 仁／中村高  
 北島由希子／文化女大付属高  
 後藤 沙織／酒田中央高  
 新井 麻衣／聖望学園高  
 2 年；  
 松本 憲秀／れいめい高  
 田中 和仁／和歌山北高  
 木島 宏史／姫路商業高  
 渡邊 大輔／洛南高  
 千葉 厚太／庄内総合高  
 小山 洋平／関西高  
 関 圭一朗／れいめい高  
 堂河内 佑／崇徳高  
 増子 靖和／東北学院高  
 立石 絵里／夙川学院高  
 廣田 望／品川女子学院高  
 茂木瀬里香／土浦日大高  
 佐橋 春枝／東京成徳大高  
 1 年；  
 川野 貢太／れいめい高  
 沖中 一仁／姫路商業高  
 岡井 翔吾／大宮東高  
 加藤 恭也／京北高  
 大倉 純貴／旭川大学高  
 飯嶋 正志／横浜商大高  
 井原 隆／長野日大高  
 金田 一道／日大豊山高  
 半谷 有里／東京成徳大高  
 井上 春香／相武台高  
 斉藤あゆみ／品川女子学院高  
 篠原 綾乃／相武台高  
 青木麻智子／日大藤沢高

	練習開始時間		
	平日	土曜	休日
男子	16:20～	13:00～	13:00～
女子	16:20～	12:40～	10:30～

上記のような予定になっていますので、お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

・練習場；日本大学文理学部第2体育館3階体操場

電話 03-5317-9719 (直通)

## 会報への原稿募集について

日本大学桜樹会会員として活躍されている各位の体験談をはじめとして、学生時代の思い出、現在興味を持っていること、近況報告などの原稿を募集しております。原稿枚数など特別な指定は設けませんので、ぜひ投稿していただきたいと思っています。なお、こちらから原稿依頼をさせていただくこともありますが、その際は桜樹会のためにも少しの時間を割いて寄稿していただきますようお願い申し上げます（締め切り毎年3月31日）。

投稿先 〒157-0061 世田谷区北烏山7-5-12 遠藤幸一あて  
電子メールアドレス endok@bus.nihon-u.ac.jp

## 編集後記

昨年の日本体操界を振り返れば、アテネ五輪における日本男子チームの活躍を挙げておかなければならないでしょう。「伸身の新月面が描く放物線は、栄光への架け橋だ！」というアナウンスとともに富田洋之選手が鉄棒の着地を決めたシーンは、それまで体操を知らなかった人々の注目を大幅に上げる原動力になりました。通常、どんなにマーケティングの知識を生かし、いろいろ手を尽くしても人を集めることは簡単にはできません。いくつもの偶然と、何よりもその結果を出すまでの努力があってこそ生まれてくるのです。いずれにしても選手はもちろん、ジュニア時代から彼らを育ててきたコーチや彼らを取り巻く人々にも大きな感謝の気持ちを抱きました。

しかし、今回の結果は協会の広報の立場として非常に喜ばしいことではあるのですが、少し冷めた気持ちがしています。それはやはり「日大」の文字を背負う代表選手がいなかったことが正直な理由です。また、女子のインカレ2部落ちも、その気持ちを後押ししているのかもしれませんが、とにかく頑張れ！との言葉を今こそ日大体操部にかけていただきたいと思います。

そんな時、1通のメールが私のもとに舞い込んできました。それはこんな文面です。「遠藤さん、ご無沙汰しています。お願いがあつてメールをしました。3月末に行われた第3回日大コーチミーティングの報告を桜樹会報に投稿したいと思っていたのですが、今日まで忘れていました。例年なら会報が届く頃で、もう間に合わないかと思いますが、すでに手遅れでしょうか？もしまだ間にあうようでしたら大至急原稿を送りますがいかがでしょうか。もしよろしければ別刷りで同封していただいてもけっこうです。今回のコーチミーティングは大変な盛り上がりで、梶山先生や水島も来てくれ、松本先生や小野田さんからも必ず投稿するように言われていたので、大変なミスをしてしまったと反省しています。よろしくお願います。」

ずいぶんと締め切りを大幅に遅れてきた原稿でしたが、私の悶々とした気持ちが一気に晴れました。皆さん、日大体操部を応援しましょう。そしてまもなく迎える体操部創部50周年を彼らの活躍の下で祝いたいと思います。

(遠藤幸一記)

日本大学桜樹会会報 第 39 号

---

発行日 平成 17 年 5 月 31 日

発行者 日本大学桜樹会

出版所 桜門書房出版部

東京都千代田区三崎町 1-3-2

〒101-8360 電話 03-3291-3403

---